

令和6年度 高等部2年（Ⅱ課程 産業コース） 国語科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒			担当者	
3/105	高等部2年Ⅱ課程 産業コース			中曽根北斗	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(高1段階) (思判表力)筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高1段階) (学・人)言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	36	(知及技)社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。(高1段階ア(ア)) (思判表力)話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。(高1段階アウ) (学・人)電話のマナーを守り、言いたいことを積極的に伝えることができる。(高1段階ウ)	(知・技)社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。 (思・判・表)話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができた。 (主学)電話のマナーを守り、一方的な会話ではなく、相手の話もよく聞いて言いたいことを積極的に伝えることができた。 【評価資料】活動の様子、学習プリント、実践または模擬電話、振り返りシート	「電話利用」 ～実習先に連絡をする～ (4月)	・自己紹介の練習。 ・欠席や遅刻の場を想定した連絡方法を知る。 ・伝言の受け方、メモの使い方を復習する。 ・声に出してリハーサルを行い敬語の確認をする。 ・応用編として、携帯電話やメールの使い方、ビジネスマナーを知る。
		(知及技)話し言葉と書き言葉の違いがあることに気付くことができる。(高2段階ア(イ)) (思判表力)目的や意図に応じて、話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合う内容を検討することができる。(高2段階アイ) (学・人)言葉がもつよさを認識するとともに、思いや考えを伝え合おうとすることができる。(高1段階ウ)	(知・技)話し言葉と書き言葉の違いがあることに気付くことができた。 (思・判・表)目的や意図に応じて、話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合う内容を検討することができた。 (主学)言葉がもつよさを認識するとともに、思いや考えを伝え合うことができた。 【評価資料】活動の様子、学習プリント、インタビューメモ用紙	「インタビューに挑戦」 ～知りたいことを知るための会話～ (5月)	・インタビュー方法を学ぶ。 ・敬語の種類とつかい方を学ぶ。 ・電話で約束をする。 ・知りたいことをメモにまとめる。 ・メモを見て、話し言葉丁寧な質問する。 ・メモを見てまとめる。
		(知及技)考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報の関係について理解することができる。(高1段階イ(ア)) (思判表力)文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができる。(高1段階Cオ) (学・人)主体的に様々な情報を整理し、感じたことを表現することができる。(高1段階ウ)	(知・技)考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報の関係について理解することができた。 (思・判・表)文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつことができた。 (主学)主体的に様々な情報を整理し、感じたことを表現することができた。 【評価資料】活動の様子、ワークシート	「平和学習」 (6月)	・沖縄戦について、映像、本、新聞等から情報を収集する。 ・集めた情報をまとめる。 ・情報から得られた事実についての感想や考えをまとめる。 ・自分が感じたことを詩で表現する。
		(知及技)幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。(高1段階ウ(ウ)) (思判表力)目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。(高1段階C工) (学・人)読んだ本の魅力について、要約や引用を用いたオリジナルのPOPを通して紹介することができる。(高1段階ウ)	(知・技)幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができた。 (思・判・表)文章全体の内容を把握して、中心となる語や文を抜き出したり、自分の言葉を使い内容を要約することができた。 (主学)読んだ本の魅力について、要約や引用を用いて工夫しながらオリジナルPOPを作成し紹介することができた。 【評価資料】活動の様子、ワークシート	「本紹介」 ～本のPOP作成～ (7月)	・図書室を利用し、推薦図書を選ぶ。 ・本のポイントとなる表現を生かして、要約し、本のPOPを作成する。

2 学期	42	<p>(知及技)原因と結果など、情報と情報との関係について理解することができる。(高2段階イ(ア)) (思判表力)引用したり、図表やグラフなどを用いたりして自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(高2段階B工) (学・人)将来どんな生活をしたか考え、友だちと協力して資料をまとめて伝え合うことができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技)原因と結果など、情報と情報との関係について理解することができた。 (思・判・表)引用したり、図表やグラフなどを用いたりして自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができた。 (主学)将来どんな生活をしたか考え、友だちと協力して資料をまとめて伝え合うことができた。  【評価資料】活動の様子、ワークシート</p>	<p>「調べたことを報告」～1人暮らしをするために必要なこと～ (9月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を集める。</li> <li>①電気料金や水道料金</li> <li>②家庭ゴミの出し方やルール</li> <li>③病気になるらうどうするなどの気になることを調べてまとめる。</li> </ul>
		<p>(知及技)文章を音読したり、朗読したりすることができる。(高1段階ア(キ)) (思判表力)登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。(高1段階Cウ) (学・人)登場人物を把握し、場面の様子がわかるように工夫して朗読することができる。(高2段階ウ)</p>	<p>(知・技)文章を音読したり、朗読したりすることができた。 (思・判・表)登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができた。 (主学)登場人物を把握し、場面の様子がわかるように工夫して朗読することができた。  【評価資料】活動の様子、自己評価、相互評価</p>	<p>「詩の朗読」 (10月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者を知る。</li> <li>・詩の読解をする。</li> <li>・表現の工夫をする。(読むときの速さ、声の大きさ、抑揚、強調など)</li> <li>・暗唱する。</li> <li>・工夫したことを発表する。</li> </ul>
		<p>(知及技)表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。(高1段階ア(工)) (思判表力)書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。(高1段階Bオ) (学・人)互いに感想や意見を伝え合い、よいところを見付けることができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技)表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができた。 (思・判・表)書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができた。 (主学)互いに感想や意見を伝え合い、よいところを見付けることができた。  【評価資料】活動の様子、ワークシート、作成物</p>	<p>「学年新聞作成」 ～学校生活の様子を記事にする～(11月、12月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編集会議を行い、記事の内容や紙面のレイアウト、インタビューなどを考える。</li> <li>・係分担当をする。</li> <li>・記事の内容は、行事、現場実習、社会見学など身近なものを選ぶ。</li> <li>・記事を書く。</li> <li>・パソコンを使い編集をする。</li> <li>・印刷して配布する。</li> </ul>
		<p>(知及技)文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。(高1段階ウ(イ)㊦) (思判表力)相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。(高1段階Bア) (学・人)相手のことを思いながら伝えたいことを表現することができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技)時候の挨拶や書き方の決まりを守り、文字の大きさや読みやすさを意識して書くことができた。 (思・判・表)相手や目的を意識して、ビジネスマナーを守り伝えたいことを明確に書くことができた。 (主学)相手のことを思いながら伝えたいことを表現することができた。  【評価資料】活動の様子、下書き原稿、清書はがき</p>	<p>「年賀状作成」 ～文書マナーを知る～ (12月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年賀状の目的を知る。</li> <li>・新年の挨拶や決まり事などのマナーを守る。</li> <li>・お世話になった方へ文面を考える。</li> </ul>
3 学期	27	<p>(知及技)親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(高2段階ウ(ア)) (思判表力)資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。(高2段階A工) (学・人)仮名遣いに注意したり、リズムを味わいながら音読し、古典の世界に触れることができる。(高2段階ウ)</p>	<p>(知・技)親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができた。 (思・判・表)資料を活用して物語を理解し、感想や自分の考えが伝わるように表現を工夫することができた。 (主学)仮名遣いに注意したり、リズムを味わいながら音読し、古典の世界に触れることができた。  【評価資料】活動の様子、音読の発表、暗唱テスト、自己評価、相互評価</p>	<p>「古典に親しむ」 ～仮名遣いに注意して音読する～『竹取物語』 (1月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者について知る。</li> <li>・登場人物や物語のあらすじを理解する。</li> <li>・仮名遣いに注意して、リズムを味わいながら繰り返し音読する。</li> <li>・冒頭部分を暗唱する。</li> <li>・教師の解説を聞く。</li> </ul>
		<p>(知及技)接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。(高1段階ア(オ)) (思判表力)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。(高1段階Cイ) (学・人)説明文を読み、筆者の考えを理解することができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技)接続する語句の役割、段落の役割について理解することができた。 (思・判・表)段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができた。 (主学)説明文を読み、筆者の考えを理解することができた。  【評価資料】活動の様子、学習プリント、確認テスト</p>	<p>「説明文の読解」 ～接続する言葉～ 『クジラの飲み水』 (2月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文と文をつなぐ、つなぎ言葉や指示語を理解する。</li> <li>・文章の構造図を活用し、形式段落と段落の意味を理解する。</li> <li>・接続する語句に注目し、具体的に書かれた事柄から筆者の考えを理解する。</li> <li>・新しく知ったことや不思議に思ったことを発表する。</li> </ul>
		<p>(知及技)日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。(高1段階ア(力)) (思判表力)書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくらしたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。(高1段階Bイ) (学・人)手紙の書き方の決まりを守り、主体的に書くことを決め、伝えたいことを明確に書くことができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技)日常よく使われる敬語を理解し、お礼状の文面を書くことができた。 (思・判・表)書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくらしたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができた。 (主学)手紙の書き方の決まりを守り、主体的に書くことを決め、伝えたいことを明確に書くことができた。  【評価資料】活動の様子、下書き原稿、清書した手紙</p>	<p>「感謝の手紙」 ～先輩への感謝の思いを伝える～ (3月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙の書き方や決まりについて知る。</li> <li>・感謝の言葉や相手を気遣う言葉を考える。</li> <li>・エピソードを具体的に書き、わかりやすく段落をつけまとめる。</li> <li>・敬語や漢字表記や句読点などを気をつけて下書きする。</li> <li>・便せんを選び清書する。</li> </ul>
総時数	105				

令和6年度 高等部2年(Ⅱ課程 産業コース) 社会科 年間指導計画

単位数 / 配当時数		児童生徒		担当者	
2/70		高等部2年Ⅱ課程 (産業コース)		新里 豪	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度、農業や水産業の現状、産業と経済の関わり、外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力) 社会的現象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。(高1段階) (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土に対する愛情、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) 我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解することができる。(高1段階ウ(ア)㉞) (思判表力) 地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することができる。(高1段階ウ(ア)㉞) (学・人) 自分の生活と結び付けて考えながら、主体的に学習活動に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技) 我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解することができる。 (思・判・表) 地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することができる。 (主学) 自分の生活と結び付けて考えながら、主体的に学習活動に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子や発表、記入したワークシートの内容で評価する。	「日本の地理」 (4月・5月・6月)	・日本の基本情報 ・地図を読むルール ・各都道府県の位置と概要 ・日本の地形と気候
		(知及技) 自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害が国土と国民生活に影響を及ぼすことを理解することができる。(高1段階ウ(ア)㉞) (思判表力) 災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して、国土の自然災害の状況を捉え、自然条件との関連を考え、表現することができる。(高1段階ウ(ア)㉞) (学・人) 自分の生活と結び付けて考えながら、主体的に学習活動に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技) 自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害が国土と国民生活に影響を及ぼすことを理解することができる。 (思・判・表) 災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して、国土の自然災害の状況を捉え、自然条件との関連を考え、表現することができる。 (主学) 自分の生活と結び付けて考えながら、主体的に学習活動に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子や発表、記入したワークシートの内容で評価する。	「自然災害について」 (6月)	・地震、津波、台風、豪雨・洪水、土砂災害、噴火 ・自然災害への対策と復興支援
		(知及技) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連に関わる学習活動を通して、関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解するとともに、公害が国土の環境や国民の生活に影響を及ぼすことを理解することができる。(高1段階ウ(ア)㉞) (思判表力) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連に関わる学習活動を通して、公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、公害防止の取組を捉え、その働きを考え、表現することができる。(高1段階ウ(ア)㉞) (学・人) 自分の生活と結び付けて考えながら、主体的に学習活動に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連に関わる学習活動を通して、関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解するとともに、公害が国土の環境や国民の生活に影響を及ぼすことを理解することができる。 (思・判・表) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連に関わる学習活動を通して、公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、公害防止の取組を捉え、その働きを考え、表現することができる。 (主学) 自分の生活と結び付けて考えながら、主体的に学習活動に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子や発表、記入したワークシートの内容で評価する。	「公害について」 (7月)	・公害の定義と分類 ・公害の歴史 ・大気汚染、水質汚染、土壌汚染 ・騒音・震動 ・放射能汚染 ・環境保護と持続可能な開発
2 学期	28	(知及技) 我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解することができる。(高1段階ウ(ア)㉞) (思判表力) 生産物の種類や分布、生産量の変化などに着目し、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することができる。(高1段階ウ(ア)㉞) (学・人) 自分の生活と結び付けて考えながら、主体的に学習活動に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技) 我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解することができる。 (思・判・表) 生産物の種類や分布、生産量の変化などに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することができる。 (主学) 自分の生活と結び付けて考えながら、主体的に学習活動に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子や発表、記入したワークシートの内容で評価する。	「日本の産業の特色」 (9月)	・第一次産業 ・第二次産業 ・第三次産業 ・エネルギー産業 ・環境、持続可能性 ・産業政策と国際競争力
		(知及技) 食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解することができる。(高1段階ウ(ア)㉞) (思判表力) 生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目し、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現することができる。(高1段階ウ(ア)㉞) (学・人) 自分の生活と結び付けて考えながら、主体的に学習活動に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技) 食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解することができる。 (思・判・表) 生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現することができる。 (主学) 自分の生活と結び付けて考えながら、主体的に学習活動に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子や発表、記入したワークシートの内容で評価する。	「日本の食料生産について」 (10月・11月)	・食料自給率 ・日本の農業、漁業、畜産業 ・食料安全保障と危機管理 ・食料生産と環境問題 ・日本の食料生産の未来

		<p>(知及技)グローバル化する世界と日本の役割に関わる学習活動を通して、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解することができる。(高1段階カ(ア)㉞)</p> <p>(思判表力)グローバル化する世界と日本の役割に関わる学習活動を通して、外国の人々の生活の様子などに着目し、日本の文化や習慣との違いについて考え、表現することができる。(高1段階カ(ア)㉞)</p> <p>(学・人)自分の生活と結び付けて考えながら、主体的に学習活動に取り組むことができる。(高1段階)</p>	<p>(知・技)グローバル化する世界と日本の役割に関わる学習活動を通して、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解することができた。</p> <p>(思・判・表)グローバル化する世界と日本の役割に関わる学習活動を通して、外国の人々の生活の様子などに着目し、日本の文化や習慣との違いについて考え、表現することができた。</p> <p>(主学)自分の生活と結び付けて考えながら、主体的に学習活動に取り組むことができた。</p> <p>【評価資料】活動の様子や発表、記入したワークシートの内容で評価する。</p>	<p>「外国の文化」 (11月・12月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の主要な文化圏</li> <li>宗教と信仰</li> <li>食文化</li> <li>伝統と伝統工芸</li> <li>生活様式と家族観</li> <li>教育と文化交流</li> <li>文化遺産と観光</li> </ul>
3 学期	18	<p>(知及技)我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、関連する先人の業績、優れた文化遺産などを理解することができる。(高1段階オ(イ)㉞)</p> <p>(思判表力)世の中の様子、人物の動きや代表的な文化遺産などに着目し、我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。(高1段階オ(イ)㉞)</p> <p>(学・人)自分の生活と結び付けて考えながら、主体的に学習活動に取り組むことができる。(高1段階)</p>	<p>(知・技)我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、関連する先人の業績、優れた文化遺産などを理解することができた。</p> <p>(思・判・表)我が国の歴史上の主な事象に関わる学習活動を通して、世の中の様子、人物の動きや代表的な文化遺産などに着目し、我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができた。</p> <p>(主学)自分の生活と結び付けて考えながら、主体的に学習活動に取り組むことができた。</p> <p>【評価資料】活動の様子や発表、記入したワークシートの内容で評価する。</p>	<p>「日本の歴史」 (1月・2月・3月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史の流れと年代の表し方</li> <li>歴史上の人物</li> <li>文化遺産</li> <li>沖縄県の歴史</li> </ul>
総時数	70				

令和6年度 高等部2年(Ⅱ課程 産業コース) 数学科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者		
3/105	高等部2年Ⅱ課程 産業コース		田名温、屋比久妙子、當山幸弥、比嘉真吾		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)整数、小数、分数及び概数の意味と表し方や四則の関係また図形の形や大きさが決まる要素や立体を構成する要素の位置関係、図形の合同や多角形の性質、比例関係や異種の二つの量の割合の比べ方、百分率、データをグラフで表す表し方や読み取り方、測定した結果を平均する方法について理解するとともに、それらの問題解決における用い方についての技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)数の表し方の仕組みや数を構成する単位、図形を構成する要素や図形間の関係、伴って変わる二つの数量の関係、目的に応じて収集したデータの特徴や傾向に着目して、目的に合った表現方法を用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を養う。(高1段階) (学・人)数量や図形、データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	36	(知及技)四則の混合した式や( )を用いた式、公式についての考え方を理解するとともに、数量を口、△などを用いて表し、その関係を式に表したりして正しく計算する技能を身に付けることができる。(高1段階Aコ(ア)㊦㊧㊨) (思判表力)問題場面の数量の関係、二つの数量の対応や変わり方に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、簡単な式で表されている関係について考察する力を養うことができる。(高1段階Aコ(イ)㊦㊧) (学・人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。(高1段階Aウ)	(知・技)四則の混合した式や( )を用いた式についての考え方を理解しようとするとともに、数量を口、△などを用いて表し、その関係を式に表したりして正しく計算する技能を身に付けることができる。 (思・判・表)問題場面の数量の関係、二つの数量の対応や変わり方に着目し、数量の関係を簡潔に表現しようとし、簡単な式で表されている関係について考察することができた。 (主学)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができた。 【評価資料】学習活動の様子、プリントの進捗、提出物、発表等で評価する。	数と計算「余暇の過ごし方について」(4月～5月)	・( )を用いた式の計算順序 ・四則混合の式の計算順序 ・分配、交換、結合法則の理解と活用 ・乗法について成り立つ性質 ・DVDレンタル時の料金表やカラオケ・ボウリング等の娯楽施設の料金表の読み取り、合計利用料を考える。 ・家計簿のつけ方や計算方法を知って、1ヶ月の模擬支出を考える。 ・銀行の預金や引き出し方法、通帳の見方などを学ぶ。 (乗法の結合法則、分配法則、四則混合の式、口、△などを用いた式)
		(知及技)平均の意味や求め方を理解し、それらを求める技能を身に付けることができる。(高1段階Dイ(ア)㊦) (思判表力)概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かすことができる。(高1段階Dイ(イ)㊦) (学・人)データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高1段階Dウ)	(知・技)平均の意味や求め方を理解し、それらを求める技能を身に付けることができた。 (思・判・表)概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かすことができた。 (主学)データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができた。 【評価資料】学習活動の様子、プリントの進捗、提出物、発表等で評価する。	データの活用「生活費用の平均について」(7月)	・小数の意味の拡張(小数倍) ・小数をかけることの意味 ・小数の乗法の考え方や筆算形式 ・小数の場合も分配、交換、結合法則が成り立つこと ・小数を10倍、1/10にしたときの数の表し方 ・小数の加減計算と筆算形式(小数第二位以下) ・光熱費や水道代などの平均月額を調べ、生活費の平均月額を求める。 ・友人などと食事に行った際に一人あたりの金額を考える。(平均)
		(知及技)小数や分数の用い方や表し方、数の相対的な大きさについての理解を深め、簡単な場合について的小数や分数の計算の技能を身に付けることができる。(高1段階Aキ(ア)㊦㊧㊨㊩、Aケ(ア)㊦㊧㊨㊩) (思判表力)数のまとまりや表し方の仕組み、構成する単位に着目し、計算の仕方を考え、それらを日常生活に生かすことができる。(高1段階Aキ(イ)㊦、Aケ(イ)㊦㊧) (学・人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。(高1段階Aウ)	(知・技)小数や分数の用い方や表し方、数の相対的な大きさについての理解を深め、簡単な場合について的小数や分数の加法及び減法、乗法、除法の計算の技能を身に付けることができた。 (思・判・表)数のまとまりや表し方の仕組み、構成する単位に着目し、計算の仕方を考え、それらを日常生活に生かすことができた。 (主学)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができた。 【評価資料】学習活動の様子、プリントの進捗、提出物、発表等で評価する。	数と計算「生産・販売に関わるお金について」(9月～10月)	・小数の位取りの原理、小数の構成 ・小数の順序、大小関係、相対的な大きさ ・レシートの見方を学ぶ。 ・商品の原価と価格について知り、利益の計算や原価率について考える。 ・決められた個数の製品を作るためのコストや納期までの計画について考える。(小数、簡単な分数の加法・減法、同分母分数の加減、分数と小数、整数の関係) ・小数に整数をかける乗法と筆算形式

2 学 期	42	<p>(知及技)三角形、様々な四角形などの多角形や円の性質、円周率及び図形の形や大きさが決まる要素について理解するとともにそれらを活用する技能を身に付けることができる。(高1段階B(ア)㉔㉕㉖㉗)</p> <p>(思判表力)図形を構成する要素及びそれらの位置関係、図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて説明したりする力を養うことができる。(高1段階B(イ)㉘㉙)</p> <p>(学・人)図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。(高1段階B(ウ))</p>	<p>(知・技)三角形、四角形などの多角形及び図形の形や大きさが決まる要素について理解しようとするともにそれらを活用する技能を身に付けることができた。</p> <p>(思・判・表)図形を構成する要素及びそれらの位置関係、図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察しようとしたり、図形の性質に気付き、その性質を説明することができた。</p> <p>(主学)図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、検討してよりよいものを求めて粘り強く考えようとしたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができた。</p> <p>【評価資料】学習活動の様子、プリントの進捗、提出物、発表等で評価する。</p>	<p>図形「間取りについて」 「目的地までの距離について」 (11月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長さや重さ、広さの単位を知って、身近なものの量を表す。</li> <li>様々な計器や計算を行い、実際の長さや重さ、広さを求める。</li> <li>自分の家の間取りを知る。</li> <li>実物と模型で拡大・縮小について考える。</li> <li>直線の垂直、平行の概念とひき方</li> <li>平行線を活用してできる角の大きさの考察</li> <li>台形、平行四辺形、ひし形の概念、性質</li> <li>台形、平行四辺形、ひし形のかけ方</li> <li>合同の意味、合同な図形の弁別</li> <li>合同な図形の性質</li> <li>合同な三角形の作図と、三角形の決定条件の初歩</li> <li>円周率の意味</li> <li>円の直径の長さと同円の長さの関係(長さの単位、重さの単位、適切な単位と計器の選択、正三角形、二等辺三角形、平行四辺形、台形、ひし形、面積の単位、長方形、正方形の面積)</li> <li>直方体、立方体の概念、特徴、性質</li> <li>展開図、見取図の意味とかき方</li> <li>直方体、立方体の面や辺の位置関係(垂直、平行)</li> <li>角柱、円柱の概念、特徴、性質</li> <li>角柱、円柱の見取図、展開図</li> </ul>
		<p>(知及技)比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりする技能を身に付けることができる。(高2段階B(イ)㉚)</p> <p>(思判表力)日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察し、それを日常生活に生かす態度を養うことができる。(高2段階B(イ)㉛)</p> <p>(学・人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(高2段階C(ウ))</p>	<p>(知・技)比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりする技能を身に付けることができた。</p> <p>(思・判・表)日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察し、それを日常生活に生かすことができた。</p> <p>(主学)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用することができた。</p> <p>【評価資料】学習活動の様子、プリントの進捗、提出物、発表等で評価する。</p>	<p>変化と関係「比とその利用」 (11月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「比」の意味と表し方を知る。</li> <li>2:3、4:6などの比について考える。(割合と比)</li> <li>割合の意味とその求め方</li> <li>百分率の意味とその表し方</li> <li>歩合の意味とその表し方</li> <li>百分率を適用した計算方法</li> <li>発展 表で比例関係を調べる素地的活動</li> <li>小数を整数でわる除法と筆算形式</li> <li>余りがある場合の余りの小数点の位置</li> <li>わり進みのある除法計算</li> </ul>
3 学 期	27	<p>(知及技)整数や小数を分数の形にしたり、分数を小数で表すこと、整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことについて理解し、その計算の技能を身に付けることができる。(高1段階B(ク)㉜㉝㉞、高2段階B(アイ)㉟㊱、A(イ)㊲)</p> <p>(思判表力)乗法及び除法の意味に着目し、乗数や除数が小数や分数である場合まで数の範囲を広げて乗法及び除法の意味を捉え直すとともに、それらの計算の仕方を考えたり、それらを日常生活に生かしたりすることができる。(高1段階B(ク)㉟)</p> <p>(学・人)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。(高1段階A(ウ))</p>	<p>(知・技)整数や小数を分数の形にしたり、分数を小数で表すこと、整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことについて理解し、その計算の技能を身に付けることができた。</p> <p>(思・判・表)乗法及び除法の意味に着目し、乗数や除数が小数や分数である場合まで数の範囲を広げて乗法及び除法の意味を捉え直すとともに、それらの計算の仕方を考えたり、それらを日常生活に生かすことができた。</p> <p>(主学)数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができた。</p> <p>【評価資料】学習活動の様子、プリントの進捗、提出物、発表等で評価する。</p>	<p>数と計算「消費税や割引について」 (1月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小数でわることの意味</li> <li>純小数でわるときの商と被除数の関係</li> <li>小数の除法におけるあまりの位取り</li> <li>商を概数で表すときの処理の仕方</li> <li>概数の意味</li> <li>四捨五入の意味と方法</li> <li>数の範囲の表し方</li> <li>消費税や割引について知る。</li> <li>合計金額から消費税がいくらか考える。</li> <li>クーポン券を活用すると大体いくらになるか考える。</li> <li>予算内で商品購入の計画を立てる。(1億までの数、概数、概算、小数の加法・減法、小数の乗法)</li> </ul>
		<p>(知及技)起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を理解し、それらを求める技能を身に付けることができる。(高2段階D(イ)㉞)</p> <p>(思判表力)事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察することができる。(高2段階D(イ)㉟)</p> <p>(学・人)割合として捉えられる数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。(高2段階C(ウ))</p>	<p>(知・技)起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を理解し、それらを求める技能を身に付けることができた。</p> <p>(思・判・表)事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察することができた。</p> <p>(主学)割合として捉えられる数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用することができた。</p> <p>【評価資料】学習活動の様子、プリントの進捗、提出物、発表等で評価する。</p>	<p>データの活用「場合を順序よく整理して」 (2～3月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リレーの走る順序やスポーツ大会の総当たりの試合数などを抜けなく数える方法について学ぶ。</li> <li>レストランのセットメニューの組み合わせについて考える。</li> <li>電話番号の全通りを考える(順列、組み合わせ)</li> <li>帯グラフ、円グラフの読み方、特徴、書き方</li> <li>統計的な問題解決の方法</li> <li>起こりうる場合の数を落ちや重なりがないように調べる方法(順列、組み合わせの考え方の初歩)</li> </ul>
総 時 数	105				

令和6年度 高等部2年（Ⅱ課程 産業コース） 理科 年間指導計画

単位数 ／ 配当時数		児童生徒		担当者	
1/35		高等部2年Ⅱ課程（産業コース）		比嘉伸哉	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 生命の連続性、流れる水の動き、気象現象の規則性、物の溶け方、電流の動きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につける。(高1段階) (思判表力)生命の連続性、流れる水の動き、気象現象の規則性、物の溶け方、電流の動きについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を養う。(高1段階) (学・人)生命の連続性、流れる水の動き、気象現象の規則性、物の溶け方、電流の動きについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件について理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(高1段階Aア(ア)) (思判表力)発芽、成長及び結実に関わる条件に気付き、それらを制御し、予想や仮説を確かめる方法を理解したり、検討したりして、その結果を捉えることができる。(高1段階Aア(イ)) (学・人)植物の発芽、成長及び結実について学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。(高1段階ウ)	(知・技) 植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件について理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。 (思・判・表)発芽、成長及び結実に関わる条件に気付き、それらを制御し、予想や仮説を確かめる方法を理解したり、検討したりして、その結果を捉えることができた。 (主学)植物の発芽、成長及び結実について学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができた。 【評価資料】活動の様子や課題への取り組みを評価する。	「植物の発芽、成長、結実」(4、5月) ・発芽の条件 ・成長の条件 ・植物の受粉と結実 ・種子の中の養分	・アサガオの発芽・成長の様子の観察する。 ・種子の中の養分について学ぶ。
		(知及技) 植物の葉に日光が当たるとデンプンができることや根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されることを理解するとともに観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけること。(高2段階Aイ(ア)) (思判表力)植物の体のつくりと動きについて調べる中で、体のつくり、体内の水などの行方及び葉で養分をつくる動きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。(高2段階Aイ(イ)) (学・人)植物の体のつくりと動きについて学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。(高2段階ウ)	(知・技) 植物の葉に日光が当たるとデンプンができることや根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されることを理解するとともに観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができた。 (思・判・表)植物の体のつくりと動きについて調べる中で、体のつくり、体内の水などの行方及び葉で養分をつくる動きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現することができた。 (主学)植物の体のつくりと動きについて学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができた。 【評価資料】活動の様子や課題への取り組みを評価する。	「植物の養分と水の通り道」(6、7月) ・でんぶんのでき方 ・水の通り道	・植物の養分と水について学ぶ。 ・維管束や葉脈を観察する。
2 学期	14	(知及技)人は、母体内で成長して生まれることを理解するとともに観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(高1段階Aイ(ア)) (思判表力)人が母体内で成長して生まれることについて調べる中で、成長の様子と経過についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。(高1段階Aイ(イ)) (学・人)人が母体内で成長して生まれることについて学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。(高1段階ウ)	(知・技)人は、母体内で成長して生まれることを理解するとともに観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができた。 (思・判・表)人が母体内で成長して生まれることについて調べる中で、成長の様子と経過についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができた。 (主学)人が母体内で成長して生まれることについて学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができた。 【評価資料】活動の様子や課題への取り組みを評価する。	「動物の誕生」(9月) ・胎生	・子宮の中での子どもの育ち方を学ぶ。
		(知及技)流れる水には、土地を浸食したり、石や土などを運搬したり、堆積させたりする動きがあること、川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(高1段階Bア(ア)) (思判表力)流れる水の動きについて調べる中で、流れる水の動きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。(高1段階Bア(イ)) (学・人)流れる水の動きと土地の変化について学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。(高1段階ウ)	(知・技)流れる水には、土地を浸食したり、石や土などを運搬したり、堆積させたりする動きがあること、川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあることを理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけることができた。 (思・判・表)流れる水の動きについて調べる中で、流れる水の動きと土地の変化との関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができた。 (主学)流れる水の動きと土地の変化について学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができた。 【評価資料】活動の様子や課題への取り組みを評価する。	「流れる水の動きと土地の変化」(10、11月)	・災害を防ぐためにできることを学ぶ。

		<p>(知・技) 天気の変化は、雲の量や動きと関係があること、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(高1段階Bイ(ア))</p> <p>(思・判・表) 天気の変化の仕方について調べる中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。(高1段階Bイ(イ))</p> <p>(学・人) 天気の変化について学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 天気の変化は、雲の量や動きと関係があること、映像などの気象情報を用いて予想できることを理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。</p> <p>(思・判・表) 天気の変化の仕方について調べる中で、天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。(主学) 天気の変化について学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。</p> <p>【評価資料】 活動の様子や課題への取り組みを評価する。</p>	「天気の変化」(12月)	・明日の天気を予想する。
3 学 期	9	<p>(知・技) 水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあること、また、気体が溶けているものや金属を変化させるものがあることを理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(高2段階Cイ(ア))</p> <p>(思・判・表) 水溶液の性質や動きについて調べる中で、溶けているものによる性質や動きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。(高2段階Cイ(イ))</p> <p>(学・人) 水溶液の性質や動きについて学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。(高2段階ウ)</p>	<p>(知・技) 水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあること、また、気体が溶けているものや金属を変化させるものがあることを理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。</p> <p>(思・判・表) 水溶液の性質や動きについて調べる中で、溶けているものによる性質や動きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。(主学) 水溶液の性質や動きについて学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。</p> <p>【評価資料】 活動の様子や課題への取組みを評価する。</p>	「水溶液の性質」(1、2月)	・水溶液の性質について学ぶ。 ・酸性、アルカリ性、中性
		<p>(知・技) 電気は、つくりだしたり蓄えたりすることができることや光、音、熱、運動などに変換することができること、身の回りには、電気の性質や動きを利用した道具があることを理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(高2段階Cエ(ア))</p> <p>(思・判・表) 電気の性質や動きについて調べる中で、電気の量と動きとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。(高2段階Cエ(イ))</p> <p>(学・人) 電気の性質や動きについて学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。(高2段階ウ)</p>	<p>(知・技) 電気は、つくりだしたり蓄えたりすることができることや光、音、熱、運動などに変換することができること、身の回りには、電気の性質や動きを利用した道具があることを理解するとともに、観察・実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。</p> <p>(思・判・表) 電気の性質や動きについて調べる中で、電気の量と動きとの関係、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。(主学) 電気の性質や動きについて学んだことを、様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、行動しようとしたりすることができる。</p> <p>【評価資料】 活動の様子や課題への取り組みを評価する。</p>	「電気の利用」(3月)	・発電 ・蓄電 ・電気の変換
総時数	35				



令和6年度 高等部2年（Ⅱ課程 産業コース） 音楽科 年間指導計画

単位数 /配当回数		児童生徒		担当者	
2/70		高等部2年Ⅱ課程 産業コース		松田清嗣	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。(高1段階) (学・人)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) 設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせてまとまりのある表現をする技能を身に付けることができる。(高1段階A1 (ウ)㊦) (思判表力)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫できる。(高1段階A1 (ア)) (学・人)主体的・協働的に身体表現に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技) 設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせてまとまりのある表現する技能を身に付けることができた。 (思・判・表)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現の創意工夫ができた。 (主学)主体的・協働的に身体表現に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	身体表現「リズムアンサンブルを楽しもう」(4～5月)	・複数の音符を用いたリズム打ちや音符の理解について学習する。 ・リズムに合わせてカップを使った表現をする。
		(知及技) 声の音色や響きと発声との関わりについて理解できる。(高1段階A2 (ア)㊦) (思判表力)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫できる。(高1段階A2 (ア)) (学・人)主体的・協働的に歌唱表現に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技) 声の音色や響きと発声との関わりについて理解できた。 (思・判・表)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現の創意工夫ができた。 (主学)主体的・協働的に歌唱表現に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	歌唱「平和について考えよう」(5～6月)	・歌詞の理解や演奏と歌唱、鑑賞のマネーについて学習する。
		(知及技) 音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けることができる。(高1段階A3 (ウ)㊦) (思判表力)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫できる。(高1段階A3 (ア)) (学・人)主体的・協働的に器楽表現に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技) 音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けることができた。 (思・判・表)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現の創意工夫ができた。 (主学)主体的・協働的に器楽表現に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	器楽「器楽合奏に挑戦しよう」(5～7月)	・楽器演奏体験をする。(楽器の名称、楽器の特徴) ・奏法について学習する。(個人練習、パート練習、合奏) ・指揮の注視について学習する。
2 学期	28	(知及技) 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解できる。(高1段階B1 (イ)) (思判表力)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くことができる。(高1段階B1 (ア)) (学・人)主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技) 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解できた。 (思・判・表)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲全体を味わって聴くことができた。 (主学)主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組むことができた。 【評価資料】学習の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	鑑賞「特徴を捉えて聴こう」(5～6月)	・クラシックや宗教音楽、民族音楽など色々なジャンルの曲を鑑賞する。
		(知及技) 音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けることができる。(高1段階A4 (ウ)㊦) (思判表力)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫できる。(高1段階A4 (ア)) (学・人)主体的・協働的に器楽表現に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技) 音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けることができた。 (思・判・表)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現の創意工夫ができた。 (主学)主体的・協働的に器楽表現に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	器楽「器楽合奏を楽しもう」(9～11月)	・楽器演奏体験(楽器の名称、楽器の特徴) ・奏法について学習する。(個人練習、パート練習、合奏) ・指揮の注視について学習する。
		(知及技) 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けることができる。(高1段階A5 (ウ)) (思判表力)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫できる。(高1段階A5 (ア)) (学・人)主体的・協働的に創作の学習に取り組むことができる。(高1段階ウ)	(知・技) 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けようとしている。 (思・判・表)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫しようとしている。 (主学)主体的・協働的に創作の学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	創作「曲作りに挑戦しよう」(11月～12月)	・音楽創作アプリ等を使用し、旋律及びリズムパートの創作を行う。

3 学期	18	<p>(知・技)呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けることができる。(高1段階Aア(ウ)④)</p> <p>(思・判・表)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫できる。(高1段階Aア(ア))</p> <p>(学・人)主体的・協働的に歌唱表現に取り組むことができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技)呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きがある歌い方で歌う技能を身に付けることができた。</p> <p>(思・判・表)歌唱表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現の創意工夫ができた。</p> <p>(主学)主体的・協働的に歌唱表現に取り組むことができた。</p> <p>【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。</p>	<p>歌唱「気持ちを込めて歌おう」 (1～3月)</p>	<p>・発声練習、歌詞の理解、強弱記号の理解と意識をする。</p>
		<p>(知・技)曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解できる。(高1段階Bア(イ))</p> <p>(思・判・表)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くことができる。(高1段階Bア(ア))</p> <p>(学・人)主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組むことができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技)曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解できた。</p> <p>(思・判・表)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くことができた。</p> <p>(主学)主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組むことができた。</p> <p>【評価資料】学習の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。</p>	<p>鑑賞「曲の特徴について発表してみよう」 (2～3月)</p>	<p>・クラシックや宗教音楽、民族音楽など色々なジャンルの曲を鑑賞する。</p> <p>・生徒同士で感じたこと等を話し合う場を設定し、曲の特徴についてグループ毎に発表する。</p>
総時数	70				

令和6年度 高等部2年（Ⅱ課程 産業コース） 美術科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者
2/70	高等部2年 Ⅱ課程 産業コース	野崎 翔太

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができるようにする。(高2段階) (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。(高2段階) (学・人) 主体的に美術の活動に取り組む創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) 対象や事象を深く見つけ、伝える目的を基に主題を生み出し構成を創意工夫し、心豊かに表現する構成を練ることができる。(高2段階) (思判表力) 美術作品などのよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。(高2段階) (学・人) 主体的・協動的に制作や鑑賞に取り組むことができる。(高2段階)	(知・技) 対象や事象を深く見つけ、伝える目的を基に主題を生み出し構成を創意工夫し、心豊かに表現する構成しようとしている。 (思・判・表) よさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。 (主学) 主体的・協動的に制作や鑑賞に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と作品、発表、振り返りシートで評価する。	「自己紹介カード」	・自己紹介カードの制作をする。 ・制作した作品の発表をする。 ・制作した作品の鑑賞をする。
		(知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して自分らしさを表すことができる。(高2段階) (思判表力) 造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることを理解し、見方や感じ方を深めたりすることができる。(高2段階) (学・人) 主体的・協動的に制作や鑑賞に取り組むことができる。(高2段階)	(知・技) 材料や用具の特性の活かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して自分らしさを表そうとしている。 (思・判・表) 造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることを理解し、見方や感じ方を深めようとしている。 (主学) 主体的・協動的に制作や鑑賞に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と作品、発表、振り返りシートで評価する。	「いろいろな技法」	・技法について学ぶ。 ・制作した作品を鑑賞する。
2 学期	28	(知及技) 対象や事象を見つめ、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構成を練ることができる。(高2段階) (思判表力) 生活の中のよさや美しさを感じ取り、美術についての見方感じ方を深めることができる。(高2段階) (学・人) 主体的・協動的に制作や鑑賞に取り組むことができる。(高2段階)	(知・技) 対象や事象を見つめ、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構成を練ろうとしている。 (思・判・表) 生活の中のよさや美しさを感じ取り、美術についての見方感じ方を深めようとしている。 (主学) 主体的・協動的に制作や鑑賞に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と作品、発表、振り返りシートで評価する。	「将来のわたし」	・ポスター制作 ・技法を活用する。 ・制作した作品の発表をする。 ・制作した作品の鑑賞をする。
		(知及技) 材料や用具の特性の活かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して自分らしさを表すことができる。(高2段階) (思判表力) 生活の中のよさや美しさを感じ取り、美術についての見方感じ方を深めることができる。(高2段階) (学・人) 主体的・協動的に制作や鑑賞に取り組むことができる。(高2段階)	(知・技) 材料や用具の特性の活かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して自分らしさを表そうとしている。 (思・判・表) 生活の中のよさや美しさを感じ取り、美術についての見方感じ方を深めようとしている。 (主学) 主体的・協動的に制作や鑑賞に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と作品、発表、振り返りシートで評価する。	「クリスマスカード」	・クリスマスカードについて学ぶ。 ・カードの制作をする。 ・制作したカードの鑑賞をする。

3 学期	18	<p>(知及技) 対象や事象を見つめ感じ取ったことを表現できるような鑑賞方法を身に付ける。(高2段階)</p> <p>(思判表力) 美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。(高2段階)</p> <p>(学・人) 主体的・協動的に制作や鑑賞に取り組むことができる。(高2段階)</p>	<p>(知・技) 対象や事象を見つめ感じ取ったことを表現できるような鑑賞方法を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表) 美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げようとしている。</p> <p>(主学) 主体的・協動的に制作や鑑賞に取り組もうとしている。</p> <p>【評価資料】活動の様子と作品、発表、振り返りシートで評価する。</p>	「鑑賞」	<ul style="list-style-type: none"> <li>各名画について学ぶ。 ゴッホ ルノアール モネ ダヴィンチ シャガール</li> </ul>
		<p>(知及技) 材料や用具の特性の活かし方を身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して自分らしさを表すことができる。(高2段階)</p> <p>(思判表力) 造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることを理解し、見方や感じ方を深めたりすることができる。(高2段階)</p> <p>(学・人) 主体的・協動的に制作や鑑賞に取り組むことができる。(高2段階)</p>	<p>(知・技) 材料や用具の特性の活かし方を身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して自分らしさを表そうとしている。</p> <p>(思・判・表) 造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることを理解し、見方や感じ方を深めようとしている。</p> <p>(主学) 主体的・協動的に制作や鑑賞に取り組もうとしている。</p> <p>【評価資料】活動の様子と作品、発表、振り返りシートで評価する。</p>	「3年生を送る会飾り制作」	<ul style="list-style-type: none"> <li>合同制作について確認する。</li> <li>1年間で学習した技法などで作品を制作する。</li> </ul>
総時数	70				

令和6年度 高等部2年(Ⅱ課程 産業コース)保健体育科(体育)年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒		担当者	
2/70		高等部2年Ⅱ課程(産業コース)		伊志嶺真司	
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを、他者に伝える力を養う。(高1段階) (学・人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自己の最善を尽くして自主的に運動をする態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりすることができる。(高1段階Aア) (思判表力)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Aイ) (学・人)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階Aウ)	(知・技)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解するとともに、仲間と積極的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をすることができる。 (思・判・表)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (主学)体ほぐしの運動や体の動きを高める運動の多様な経験を通して、きまりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	「体づくり運動」 (4月～3月) ・特体連ダンス ・ラジオ体操 ・新体力テスト	・いろいろな手軽な運動やリズムカルな運動を行う。 ・特体連ダンスやラジオ体操や地域で親しまれている曲に合わせてダンスを行う。 ・体の柔らかさや巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めることをねらいとして行われる運動を行う。
		(知及技)器械運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けることができる。(高1段階Bア) (思判表力)器械運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Bイ) (学・人)器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階Bウ)	(知・技)器械運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技を身に付けることができる。 (思・判・表)器械運動についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (主学)器械運動の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や器械・器具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	「器械運動」 (6、7月) ・マット運動 ・跳び箱運動 ・トランポリン	・一連の動きを滑らかに、バランスよく姿勢を保ちながら行い、基本的な技を身に付ける。
2 学期	28	(知及技)水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。(高1段階Dア) (思判表力)水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Dイ) (学・人)水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階Dウ)	(知・技)水泳の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに泳法を身に付けることができる。 (思・判・表)水泳についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (主学)水泳の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	「水泳」 (9月) ・クロール ・平泳ぎ ・スタート&ターン	・クロール、平泳ぎでは手や足の動きと呼吸のタイミングを合わせられるようゆっくりとした動きで行う。 ・生徒の体力や技能に応じてスタート、ターンの練習を行う。
		(知及技)陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができる。(高1段階Cア) (思判表力)陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Cイ) (学・人)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階Cウ)	(知・技)陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付けることができる。 (思・判・表)陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (主学)陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	「陸上競技」 (10、11、12月) ・短距離走 ・長距離走 ・リレー	・短距離走では手足のリズムを合わせ、体を軽く前傾させて全力で走ること。 ・長距離走では、ペースを一定にして走ること。 ・リレーではバトンの受け渡しのタイミングを練習しながらチームに分かれて競争し、チームのタイムを短縮できるよう練習を行う。

		<p>(知・技) 武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開することができる。(高1段階F)</p> <p>(思判表力) 武道についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Fイ)</p> <p>(学・人) 武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階Fウ)</p>	<p>(知・技) 武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて、簡易な攻防を展開することができる。</p> <p>(思・判・表) 武道についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(主学) 武道の多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。</p> <p>【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。</p>	<p>「武道」 (11月) ・空手</p>	<p>・基本動作を中心に取り組み、普及型Ⅰ、Ⅱに挑戦する。</p>
3 学期	18	<p>(知及技) ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通した交流をすることができる。(高1段階G)</p> <p>(思判表力) ダンスについての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Gイ)</p> <p>(学・人) ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階Gウ)</p>	<p>(知・技) ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身に付け、表現や踊りを通した交流をすることができる。</p> <p>(思・判・表) ダンスについての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(主学) ダンスの多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。</p> <p>【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。</p>	<p>「ダンス」 (1月) ・創作ダンス</p>	<p>・現代的なリズムのダンス(リズムに乗って全身で自由に弾んで踊ること。)</p> <p>・簡単なリズムの取り方や動きで、音楽のリズムに同調したり、体幹部を中心としたシンプルに弾む動きをしたりして自由に踊ること。</p> <p>・リズムの取り方や動きの連続のさせ方を組み合わせさせて、動きに変化を付けて踊ること</p>
		<p>(知及技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(高1段階E)</p> <p>(思判表力) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Eイ)</p> <p>(学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。(高1段階Eウ)</p>	<p>(知・技) 球技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。</p> <p>(思・判・表) 球技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(主学) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。</p> <p>【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。</p>	<p>「球技」 (2, 3月) ・バスケットボール ・サッカー ・バレーボール ・バドミントン ・卓球 ・ポッチャ ・フライングディスク</p>	<p>・生徒の実態等に応じて簡易化したルールでゲームを行う。</p> <p>・将来の余暇活動にも結びつく種目を積極的に取り入れる。</p> <p>・生徒の実態に応じて、各種目のきまりやルールのについての学習を行う。</p>
		<p>(知及技) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に気付くことができる。(高1段階H)</p> <p>(思判表力) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Hイ)</p> <p>(学・人) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組むことができる。(高1段階Hウ)</p>	<p>(知・技) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に気付くことができる。</p> <p>(思・判・表) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(主学) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組むことができる。</p> <p>【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。</p>	<p>「体育理論」 (4月～3月) ・運動やスポーツの多様性 ・効果と学び方 ・安全な行い方 ・文化としてのスポーツの意義</p>	<p>・スポーツには多様な関わり方があること。</p> <p>・効果と学び方では、運動が身体の発達やその機能に効果があることや食生活の改善と関連付ける。</p> <p>・安全な行い方では、運動の特性や目的に適した運動を選択したり、個々の発達段階に応じた強度、時間、頻度に配慮した計画を立てること。</p>
総時数	70				

令和6年度 高等部2年(Ⅱ課程 産業コース)保健体育科(保健)年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒		担当者	
1/35		高等部2年Ⅱ課程(産業コース)		新垣健司	
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを、他者に伝える力を養う。(高1段階) (学・人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自己の最善を尽くして自主的に運動をする態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。(高1段階Iア) (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Iイ) (学・人)健康・安全についての学習に積極的に取り組むことができる。(高1段階Iウ)	(知・技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができた。 (思・判・表)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができた。 (主学)健康・安全についての学習に積極的に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	「保健」 (4～7月) ・性に関する指導 ・自然災害	・性に関する指導では、生徒個々の知的障害の状態等に応じて、適切な指導内容を設定する。二次性徴など ・自然災害では台風、高潮、大雨洪水、雷、竜巻について学習する。(水難事故も含む)
2 学期	14	(知及技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。(高1段階Iア) (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Iイ) (学・人)健康・安全についての学習に積極的に取り組むことができる。(高1段階Iウ)	(知・技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができた。 (思・判・表)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができた。 (主学)健康・安全についての学習に積極的に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	「保健」 (9～12月) ・応急手当や心肺蘇生法 ・地震津波	・AEDの使用を含む心肺蘇生法等を学習する。 ・地震や津波に関する基礎知識や避難方法等について学習する。
3 学期	9	(知及技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。(高1段階Iア) (思判表力)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(高1段階Iイ) (学・人)健康・安全についての学習に積極的に取り組むことができる。(高1段階Iウ)	(知・技)心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができた。 (思・判・表)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができた。 (主学)健康・安全についての学習に積極的に取り組むことができた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	「保健」 (1～3月) ・交通安全 ・飲酒	・自転車や自動車の特性、交通法規、周囲の状況に応じ、安全に行動すること、加害責任、事故の特徴について学習する。 ・有害物質や依存性に関する基礎知識や好奇心、心理状態等に適切に対処することを学習する。
総時数	35				

令和6年度 高等部2年(Ⅱ課程 産業コース) 職業科(座学) 年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒		担当者	
2/70		高等部2年Ⅱ課程(産業コース)		野崎 翔太	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。 (高1段階) (学・人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技)勤労の意義を理解することができる。(高1段階Aア(ア)) (思判表力)意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。(高1段階Aア(イ)) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)勤労の意義を理解することができた。(思・判・表)意欲や見通しを持って取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができた。(主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○オリエンテーション(4月) ・授業の目標と活動内容について ○「自分のこと」(4月) ③自分の家 ④生活スケジュール ⑤卒業後の進路先 ⑥やりたいこと、夢、職業	・授業の目標や活動内容について知り、学習の見直しを持つ。 ・家庭や学校、地域における自分と他者との役割について理解する。 ・住所・電話番号・最寄りバス停などを理解し、伝える。 ・1日及び1週間のスケジュール管理や休日の過ごし方について確認し、課題を設定し改善方法を考える。 ・卒業後の進路先について知る。 ・就労に向けたドリームマップを作成する。
		(知及技)職業生活に必要な実践的な知識及び技能を身に付けることができる。(高1段階Aイ(ア)⑦) (思判表力)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。(高1段階Aイ(イ)④) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aイ(ウ))	(知・技)職業生活に必要な実践的な知識及び技能を身に付けることができた。(思・判・表)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができた。(主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○「働くこと」(5月) ⑧仕事の仕方 ⑨仕事に対する心構え ○「働くために必要なこと」(5月) ⑩実習に行く前に ⑪実習中の生活 ⑫作業工程の理解(技能検定)	・実習先の場所や時間について知る。 ・情緒の安定の方法や意欲を維持する方法を知る。 ・目標、実習内容、実習先の情報、通勤方法、持ち物、日誌の書き方について理解する。 ・実習中の日課、健康管理、通勤中のトラブル対処の方法等を理解する。 ・メンテナンス部門(自在ぼうき・モップ・机ふき)の技能について理解し、実践する。
		(知及技)職業など卒業後の進路に必要なことについて理解することができる。(高1段階Cア) (思判表力)産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現することができる。(高1段階Cイ) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)職業など卒業後の進路に必要なことについて理解することができた。(思・判・表)産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現することができた。(主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。 【評価資料】実習日誌、活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○「働くこと」(5月～6月) ⑪仕事に対する心構え ○「働くために必要なこと」(6月～7月) ⑬実習中の生活 ⑭事後学習と報告会 ⑮作業工程の理解(技能検定)	・情緒の安定の方法や意欲を維持する方法を実践する。 ・実習中の日課、健康管理、通勤中のトラブル対処の方法等を理解し、実践する。 ・実習を振り返り、自己の成長や課題、改善策について考え、発表する。 ・メンテナンス部門(自在ぼうき・モップ・机ふき)の技能について理解し、実践する。
2 学期	28	(知及技)情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱うことができる。(高1段階Bア) (思判表力)情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。(高1段階Bイ) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱うことができた。(思・判・表)情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができた。(主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○「働くこと」(9月) ⑦いろいろな仕事 ⑧仕事の仕方 ⑨給与や待遇 ⑫タイピング ・情報モラル	・自分が希望する職名や職種、企業や事業所の社会的役割などについて調べるとともに理解を深め、進路選択をする。 ・実習先の場所や時間について知る。 ・最低賃金や雇用時間、雇用条件、福利厚生について知る。 ・調べたことをICT機器を使ってまとめ、発表する。 ・情報発信による他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任をもつことを理解する。
		(知及技)職業生活に必要な実践的な知識及び技能を身に付けることができる。(高1段階Aイ(ア)⑦) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。(高1段階Aイ(イ)②) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)職業生活に必要な実践的な知識及び技能を身に付けることができた。(思・判・表)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができた。(主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○「働くために必要なこと」(9月～10月) ⑫健康管理 ⑬マナーや身だしなみ ⑭聞き取りと伝達 ⑮金銭管理 ⑯移動手段 ⑰面接(事前挨拶)	・健康や安全について理解する。 ・挨拶、返事、言葉遣い、態度、清潔、身だしなみについて理解する。 ・効率的なメモの取り方や自分の意思の伝え方について理解する。 ・金銭の管理方法について理解する。 ・実習先までの交通機関の利用方法について理解する。 ・面接の基礎知識や質問対応の仕方について理解する。



		<p>(知及技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解することができる。(高1段階Cア)</p> <p>(思判表力)産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現することができる。(高1段階Cイ)</p> <p>(学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))</p>	<p>(知・技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解することができた。</p> <p>(思・判・表)産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現することができた。</p> <p>(主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。</p> <p>【評価資料】実習日誌、活動内容の様子、振り返りシートで評価する。</p>	<p>○「働くこと」(10月～11月)</p> <p>①仕事に対する心構え</p> <p>○「働くために必要なこと」(10月～11月)</p> <p>⑨実習中の生活</p> <p>⑩事後学習と報告会</p> <p>⑪作業工程の理解(技能検定)</p>	<p>・情緒の安定の方法や意欲を維持する方法を理解し、実践する。</p> <p>・実習中の日課、健康管理、通勤中のトラブル対処の方法等を工夫、実践する。</p> <p>・実習を振り返り、自己の成長や課題、改善策について考え、発表する。</p> <p>・メンテナンス部門(自在ぼうき・モップ・机ふき)の技能について理解し、実践する。</p>
		<p>(知及技)職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解することができる。(高1段階Aイ(ア)④)</p> <p>(思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。(高1段階Aイ(イ)⑦)</p> <p>(学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))</p>	<p>(知・技)職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解することができた。</p> <p>(思・判・表)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができた。</p> <p>(主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。</p> <p>【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートなどで評価する。</p>	<p>○「働くために必要なこと」(11月～12月)</p> <p>③マナーや身だしなみ</p> <p>⑤金銭管理</p> <p>⑥移動手段</p> <p>⑦お礼状の書き方</p> <p>⑪作業工程の理解(技能検定)</p>	<p>・実習日誌や評価表を活用しながら、事前に学習したそれぞれの項目について後期就業体験実習を振り返り、成果と課題、改善策について考え、実践を図る。</p> <p>・お礼状の書き方について理解し、実習先へお礼状を書く。</p> <p>・メンテナンス部門(自在ぼうき・モップ・机ふき)の技能について理解し、実践する。</p>
3 学 期	18	<p>(知及技)職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解することができる。(高1段階Aイ(ア)④)</p> <p>(思判表力)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。(高1段階Aイ(イ)⑦)</p> <p>(学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))</p>	<p>(知・技)職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解することができた。</p> <p>(思・判・表)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができた。</p> <p>(主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。</p> <p>【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートなどで評価する。</p>	<p>○「社会生活において必要なこと」(1月～2月)</p> <p>②生活の場</p> <p>④相談機関</p> <p>⑤地域との関わり</p>	<p>・いろいろな生活の場(自宅・通勤寮・グループホーム・入所施設・社員寮・一人暮らしなど)があることを知る。</p> <p>・困ったときに相談できる機関(福祉事務所・相談支援事業所・ハローワーク・地域の就労支援機関・権利擁護センターなど)について知る。</p> <p>・学校近隣の清掃活動や作品提供を行う。</p>
		<p>(知及技)勤労の意義を理解することができる。(高1段階Aア(ア))</p> <p>(思判表力)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。(高1段階Aイ(イ)⑦)</p> <p>(学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))</p>	<p>(知・技)勤労の意義を理解することができた。</p> <p>(思・判・表)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができた。</p> <p>(主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。</p> <p>【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。</p>	<p>○「自分のこと」(2月～3月)</p> <p>①好きなこと、よいところ</p> <p>⑥やりたいこと、夢、職業</p>	<p>・ドリームマップやワークシートなどを活用し、1年間の学習の振り返りを行いながら、自分の成長点や今後の課題点を確認し、卒業後の進路実現に向けて、課題改善策を考え、実践する。</p>
総時数	70				

令和6年度 高等部2年(Ⅱ課程 産業コース) 職業科(トータルクリーニング・アシストサービス班) 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者		
6/210	高等部2年Ⅱ課程(産業コース)		玉城 恵理子		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身につけるようにする。(高1段階) (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を養う。(高1段階) (学・人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	72	(知及技)勤労の意義を理解することができる。(高1段階Aア(ア)) (思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。(高1段階Aア(イ)) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)勤労の意義を理解することができる。 (思・判・表)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○オリエンテーション(4月) ・授業の目標と活動内容について ・SDGsについて	・授業の目標や活動内容について理解し、学習の見通しを持つ。 ・雇用のある職種について理解する。 ・SDGsの理念や17の目標について理解する。
		(知及技)職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付けることができる。(高1段階Aイ(ア)㊦) (思判表力)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。(高1段階Aイ(イ)㊦) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)職業生活に必要とされる実践的な知識及び技能を身に付けることができた。 (思・判・表)作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができた。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○労働者としての基礎的な態度やマナー(4月～5月) ・挨拶 ・言葉遣い ・身だしなみ ・「報告・連絡・相談」	・挨拶、言葉遣い、身だしなみ、連絡、報告等労働者としての基礎的な態度やマナーについて理解する。
		(知及技)使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。(高1段階Aイ(ア)㊧) (思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。(高1段階Aイ(イ)㊧) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができた。 (思・判・表)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができた。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○清掃の基礎的な作業工程について(5月～7月) ・机拭き ・自在ほうき ・モップ ・乾式モップ	・机拭きの基礎的な作業工程について理解する。 ・自在ほうきの基礎的な作業工程について理解する。 ・モップ清掃の基礎的な作業工程について理解する。 ・乾式モップの基礎的な作業工程について理解する。 教材(技能検定動画、技能検定仕様書)
		(知及技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解することができる。(高1段階Cア) (思判表力)産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現することができる。(高1段階Cイ) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解することができた。 (思・判・表)産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現することができた。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】実習日誌、活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○前期校内実習(5月中旬～6月初旬) ・事前学習 ・実践 ・産業教育実践講座 ・事後学習	・挨拶、言葉遣い、身だしなみ、連絡、報告等労働者としての基礎的な態度やマナーを理解し、実践する。 ・清掃の基礎的な作業工程について理解し、実践する。 ・目標、実習内容、持ち物、日誌の書き方について理解し、実践する。 ・実習内容について理解する。 ・実習を振り返り、自己の成長や課題、改善策について考え、発表する。
		(知及技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができる。(高1段階Aイ(ア)㊨) (思判表力)生産や生育活動等に関わる技術について考えることができる。(高1段階Aイ(イ)㊨) (学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))	(知・技)材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解することができた。 (思・判・表)生産や生育活動等に関わる技術について考えることができた。 (主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。 【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。	○喫茶サービスについて(9月～10月) ・食品衛生管理 ・食品製造加工 ・喫茶サービスの基本 ○地域貢献活動(9月～12月)	・食品衛生管理の概念や方法等について理解する。 ・食品製造加工の概念や方法等について理解する。 ・喫茶サービスの基礎的な業務手順について理解する。 ・地域貢献活動(清掃や販売など)を行う。

2 学 期	84	<p>(知及技)作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。(高1段階Aイ(ア)㊸)</p> <p>(思判表力)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。(高1段階Aイ(イ)㊹)</p> <p>(学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))</p>	<p>(知・技)作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができた。</p> <p>(思・判・表)職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができた。</p> <p>(主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。</p> <p>【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。</p>	<p>「労働者としての態度について(近隣企業での職場体験を通して)」(9月～12月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベッドメイキング</li> <li>・客室清掃</li> <li>・食品補充</li> <li>・窓拭き</li> <li>・車椅子利用者の介助方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的なオフィスアシスタントの業務手順について理解する。</li> <li>・近隣企業の業務内容について理解する。</li> <li>・近隣企業でのルールとマナーについて理解する。</li> <li>(体験場所:ホテルゆがふいんおきなわ、特別養護老人ホームかりゆしぬ村)</li> <li>・就労支援について理解する。</li> <li>・窓拭きの基礎的な作業工程や道具の扱い方について理解する。</li> <li>・車椅子利用者の基礎的な介助方法や車椅子の扱い方について理解する。</li> </ul>
		<p>(知及技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解することができる。(高1段階Cア)</p> <p>(思判表力)産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現することができる。(高1段階Cイ)</p> <p>(学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))</p>	<p>(知・技)職業など卒業後の進路に必要となることについて理解することができた。</p> <p>(思・判・表)産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現することができた。</p> <p>(主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。</p> <p>【評価資料】実習日誌、活動内容の様子、振り返りシートで評価する。</p>	<p>「後期現場実習」(10月中旬～11月上旬)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習</li> <li>・実践</li> <li>・事後学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期実習を振り返り、後期の実習の目標を立てる。</li> <li>・実習内容について理解する。</li> <li>・挨拶、言葉遣い、身だしなみ、連絡、報告等労働者としての基礎的な態度やマナーについて理解し、実践する。</li> <li>・実習先でのルールとマナーについて理解し、実践する。</li> <li>・実習先での仕事内容を理解する。</li> <li>・実習を振り返り、自己の成長や課題、改善策について考え、発表する。</li> </ul>
3 学 期	54	<p>(知及技)情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱うことができる。(高1段階Bア)</p> <p>(思判表力)情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。(高1段階Bイ)</p> <p>(学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))</p>	<p>(知・技)情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱うことができた。</p> <p>(思・判・表)情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができた。</p> <p>(主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。</p> <p>【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。</p>	<p>「1年間の活動をまとめる」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PowerPointなどのアプリを使い、準備されたテンプレートに合わせて収集した情報を工夫しながら整理する。</li> <li>・情報機器を用いて収集した情報を活用しながら、自分の1年間の活動を相手に伝わりやすいようにまとめ、記録し、発表する。</li> </ul>
		<p>(知及技)作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。(高1段階Aイ(ア)㊸)</p> <p>(思判表力)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができる。(高1段階Aイ(イ)㊹)</p> <p>(学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))</p>	<p>(知・技)作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができた。</p> <p>(思・判・表)作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、改善を図ることができた。</p> <p>(主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。</p> <p>【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。</p>	<p>「働くことの大切さや社会生活の実際について(近隣企業での職業体験を通して)」(1月～2月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶、言葉遣い、身だしなみ、連絡、報告等労働者としての基礎的な態度やマナーについて理解する。</li> <li>・基礎的なオフィスアシスタントの業務手順について理解する。</li> <li>・近隣企業の業務内容について理解する。</li> <li>・近隣企業でのルールとマナーについて理解する。</li> <li>(体験場所:ホテルゆがふいんおきなわ、特別養護老人ホームかりゆしぬ村)</li> </ul>
		<p>(知及技)勤労の意義を理解することができる。(高1段階Aア(ア))</p> <p>(思判表力)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。(高1段階Aア(イ))</p> <p>(学・人)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1段階Aア(ウ))</p>	<p>(知・技)勤労の意義を理解することができた。</p> <p>(思・判・表)意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができた。</p> <p>(主学)作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができた。</p> <p>【評価資料】活動内容の様子、振り返りシートで評価する。</p>	<p>「年間のまとめ」(3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果と課題</li> <li>・課題解決策を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の学習の振り返りを行いながら、自分の成長点や今後の課題点を確認し、卒業後の進路実現に向けて、課題改善策を考え、記録・発表する。</li> </ul>
総時数	210				

令和6年度 高等部2年(Ⅱ課程 産業コース) 家庭科 年間指導計画

単位数 / 配当時数	児童生徒		担当者		
1 / 35	高等部2年Ⅱ課程 産業コース		喜瀬 愛香		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
(知及技) 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それに係る技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(高1段階) (学・人) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解できる。(高1段階Bウ(ア)) (思判表力) 衣服の選択について考え工夫できる。(高1段階Bウ(イ)) (学・人) 実生活を通してよりよい衣生活の実現に向けて工夫し、実践できる。(高1段階ウ)	(知・技) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解できた。 (思・判・表) 衣服の選択について考え工夫できた。 (主学) 実生活を通してよりよい衣生活の実現に向けて工夫し、実践できた。 【評価資料】 活動の様子と発表、振り返りシートで評価する。	衣服の選び方(4月) ・衣服の組み合わせとデザイン 衣服の素材 ・繊維の種類と特徴 ・湿紡の効果 ・既製品のサイズ ・衣服の表示について ・クールビズとウォームビズ	・衣服のデザインや素材の違いを考えてコーディネートを考える。 ・流行と衣服購入の注意点について考える。 ・天然繊維や化学繊維などの長所と短所や取り扱いについて学ぶ。 ・既製品のサイズの表記について確認する。 ・衣類についているタグにはどのような情報が表記されているか学ぶ。 ・クールビズとウォームビズから環境に優しい暮らしを考える。
		(知及技) 消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について気付くことができる。(高1段階Cイ(ア)) (思判表力) 身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、表現することができる。(高1段階Cイ(イ)) (学・人) 実生活を通して、よりよい消費生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする事ができる。(高1段階ウ)	(知・技) 消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について気付くことができる。 (思・判・表) 身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、表現することができた。 (主学) 実生活を通して、よりよい消費生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする事ができた。 【評価資料】 活動の様子と発表、振り返りシートで評価する。	消費者の権利と責任(5~6月) ・消費者の権利 ・消費者の責任 ・グリーンコンシューマー ・3R ・SDGs ・フェアトレード	・商品を買う側にも権利と責任があることを知る。 ・消費行動と環境の関わりを知る。 ・消費者の責任 ・グリーンコンシューマー ・どのような取り組みがされているかを知り、自分ができることを考える。
		(知及技) 生活の中で食事が果たす役割について理解できる。(高1段階Bア(ア)) (思判表力) 健康によい食習慣について考え工夫できる。(高1段階Bア(イ)) (学・人) 実生活を通してよりよい食事の役割の実現に向けて工夫し、実践できる。(高1段階ウ)	(知・技) 生活の中で食事が果たす役割について理解できた。 (思・判・表) 健康に良い食習慣について考え工夫できた。 (主学) 実生活を通してよりよい食事の役割の実現に向けて工夫し、実践できた。 【評価資料】 活動の様子と発表、振り返りシートで評価する。	元気な体をつくる食事(5~6月) ・栄養と食品の関係	・栄養素の働きと含まれる食品について学ぶ。 ・食品群と食品群別摂取量の目安について学ぶ。 ・iPadアプリケーションやウェブ教材を利用して自分の摂取量を確かめる。
(知及技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができる。(高1段階Bイ(ア)) (思判表力) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現できる。(高1段階Bイ(イ)) (学・人) 実生活を通してよりよい日常食の調理の実現に向けて工夫し、実践できる。(高1段階ウ)	(知・技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができた。 (思・判・表) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現できた。 (主学) 実生活を通してよりよい日常食の調理の実現に向けて工夫し、実践できた。 【評価資料】 活動の様子と発表、振り返りシートで評価する。	調理実習をはじめる前に(6月) ・調理の流れ ・調理器具の使い方 ・基礎的な調理の仕方 ・あと片づけの仕方 調理をしよう(6~7月)	・調理実習前に、調理器具の使い方や調理の仕方について復習を行う。 ・日常食の調理を行う。		
2 学期	14	(知及技) 目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し適切にできる。(高1段階Bエ(ア)) (思判表力) 目的に応じた縫い方について考え工夫できる。(高1段階Bエ(イ)) (学・人) 実生活を通してよりよい布を用いた製作の実現に向けて工夫し、実践できる。(高1段階ウ)	(知・技) 目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しようとし、適切にできた。 (思・判・表) 目的に応じた縫い方について考え工夫できた。 (主学) 実生活を通してよりよい布を用いた製作の実現に向けて工夫し、実践できた。 【評価資料】 活動の様子と発表、振り返りシート、作品で評価する。	衣服の補修(9~10月) ・ミシン縫い	・ミシン縫いの基礎(直線縫い・返し縫い・角の曲がり方) ・ミシン縫いを活用した小物づくりを行う。
		(知及技) 家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について知ることができる。(高1段階Bオ(ア)) (思判表力) 家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、表現できる。(高1段階Bオ(イ)) (学・人) 実生活を通してよりよい住生活の実現に向けて工夫し、実践できる。(高1段階ウ)	(知・技) 家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について知ることができた。 (思・判・表) 家族の安全や快適さを考えた住空間について考え、表現できた。 (主学) 実生活を通してよりよい住生活の実現に向けて工夫し、実践できた。 【評価資料】 活動の様子と発表、振り返りシートで評価する。	健康で快適に住まう(11月) ・住まいの機能 ・住空間 ・住まいの安全	・住まいの基本的な機能について知る。 ・生活行為と住空間の関わりを考える。 ・安全な住まいについて考える。

		<p>(知及技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができる。(高1段階Bイ(ア))  (思判表力) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現できる。(高1段階Bイ(イ))  (学・人) 実生活を通してよりよい日常食の調理の実現に向けて工夫し、実践できる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができた。  (思・判・表) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現できた。  (主学) 実生活を通してよりよい日常食の調理の実現に向けて工夫し、実践できた。【評価資料】活動の様子と発表、振り返りシートで評価する。</p>	調理をしよう (11~12月)	・日常食の調理を行う。
3 学 期	9	<p>(知及技) 乳幼児や高齢者などの生活の特徴、乳幼児や高齢者などとの関わり方について気付くことができる。(高1段階Aエ(ア))  (思判表力) 乳幼児や高齢者などとのよりよい関わり方について考え、表現できる。(高1段階Aエ(イ))  (学・人) 実生活を通してよりよい家族・家庭生活の実現に向けて工夫し、実践できる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 乳幼児や高齢者などの生活の特徴、乳幼児や高齢者などとの関わり方について気付くことができる。  (思・判・表) 乳幼児や高齢者などとのよりよい関わり方について考え、表現できた。  (主学) 実生活を通してよりよい家族・家庭生活の実現に向けて工夫し、実践できた。【評価資料】活動の様子と発表、振り返りシートで評価する。</p>	<p>高齢者と共に (1月)  ・高齢者のくらしぶりを知っていますか  子どもと共に (2月)  ・子どもの世界</p>	<p>・高齢者の身体的特徴、生活の課題について学ぶ。  ・乳幼児の生活について学ぶ。  ・自分の幼児期を振り返り、幼い頃の夢、エピソードなどをまとめる。</p>
		<p>(知及技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができる。(高1段階Bイ(ア))  (思判表力) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現できる。(高1段階Bイ(イ))  (学・人) 実生活を通してよりよい日常食の調理の実現に向けて工夫し、実践できる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができた。  (思・判・表) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現できた。  (主学) 実生活を通してよりよい日常食の調理の実現に向けて工夫し、実践できた。【評価資料】活動の様子と発表、振り返りシートで評価する。</p>	調理をしよう (2~3月)	・日常食の調理を行う。
総時数	35				

令和6年度 高等部2年（Ⅱ課程 産業コース） 外国語 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者		
1/35	高等部2年Ⅱ課程 産業コース		金城 篤		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 音声や文字、語彙、表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、話すことを中心とした実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。(高1段階) (学・人)外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 英語の音声及び簡単な語句や表現などについて、日本語との違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)) (思判表力) 日付や時刻などを表す表現など、身近で簡単な事柄について、表示などを参考にしながら具体的な情報を主体的に聞き取ることができる。(高1段階ウ(ア)イ) (学・人) 固有名詞や活字体で書かれた文字を見て、大文字と小文字を認識し、その読み方を主体的に発音することができる。(高1段階ウ)	(知・技) 英語の音声及び簡単な語句や表現などについて、日本語との違いを意識付くことができた。 (思・判・表) 日付や時刻などを表す表現など、身近で簡単な事柄について、表示などを参考にしながら具体的な情報を主体的に聞き取ることができた。 (主学) 固有名詞や活字体で書かれた文字を見て、大文字と小文字を認識し、その読み方を主体的に発音することができた。 【評価資料】 活動の様子、学習プリント	○英語の基礎・基本(4月・5月) ・アルファベットの確認、自己紹介、挨拶 ○Unit1 Grade 学年(5月) ・英語の数字 ・主語+動詞+述語 ・疑問詞(WhatやWhere)の疑問文 ・英語を使ったやり取りとスピーチ ○What time is it?	・大文字、小文字を書く練習。 ・日付や天気、身近な話題をテーマに会話練習をする。 ・自分の趣味、好きな事を説明する。 ・朝・昼・夜それぞれに応じた挨拶を理解する。 ・WhatやWhereを用いた疑問文に対してやり取りやスピーチを行う。 ・OneやFirstの使い方を理解することができる。 ・数字を意識して時刻を英語で表現することができる。
		(知及技) 英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア)ア) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりすることができる。(高1段階イ(イ)) (学・人) 挨拶を交えた簡単な会話を主体的に練習することができる。(高1段階ウウ)	(知・技) 英語の音声を聞いたり話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いを意識付くことができた。 (思・判・表) 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり、書いたりすることができた。 (主学) 挨拶を交えた簡単な会話を主体的に練習することができた。 【評価資料】 活動の様子、学習プリント、ALTとのやり取り	○Unit2 Going to School 通学(6月) ・前置詞(by) ・乗り物 ・疑問詞(How)の疑問文 ・英語を使ったやり取りとスピーチ ○How much is it? ○Unit3 Birthday 誕生日(7月) ・月・曜日・年 ・疑問詞(When)の疑問文 ・英語を使ったやり取りとスピーチ ○When do you get up? ○Summer Vacation 夏休み	・登校の手段に関して、前置詞(主にby)を用いて表現することができる。 ・Unit1を踏まえて疑問詞Howを用いた疑問文に対してやり取りやスピーチを行う。 ・How much is itでやり取りをすることができる。 ・Whenを用いて相手に質問したり、やり取りをすることができる。 ・実際のカレンダーを使って月・曜日や日付が分かる。 ・When do you get up?を使ってやり取りができる。 ・夏休みについてALTとやり取りができる
		(知及技) 英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。(高1段階ア(ア)イ) (思判表力) 相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを書き写すことができる。(高1段階ウ①(エ)ウ) (学・人) プレゼントに関して簡単な会話を主体的に練習することができる。(高1段階ウ)	(知・技) 英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることを意識付くことができた。 (思・判・表) 相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを書き写すことができた。 (主学) プレゼントに関して簡単な会話を主体的に練習することができた。 【評価資料】 活動の様子、学習プリント、ALTとのやり取り	○Unit4 Presents プレゼント(9月) ・動詞Want ・wantとwant to 不定詞の違いについて ・プレゼントに関する固有名詞 ・英語を使ったやり取りとスピーチ ○Halloween ハロウィン	・誕生日にほしい物をWhat do you wantの疑問文を用いてやり取りすることができる。 ・欲しい物リストを作成して固有名詞を英語で調べることができる。【iPad】 ・外国文化・ハロウィンについてALTとやり取りができる

2 学期	14	<p>(知及技)英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現について、日本語との違いに気付くことができる。(高1段階ア(ア))</p> <p>(思判表力)簡単な事柄について、語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真等とを結びつけることができる。(高1段階ウ①(ア)ア)</p> <p>(学・人)相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを主体的に書き写すことができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技)英語の音声及び簡単な語句や基本的な表現について、日本語との違いを意識付くことができた。</p> <p>(思・判・表)簡単な事柄について、語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真等とを結びつけることができた。</p> <p>(主学)相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語彙などを主体的に書き写すことができた。</p> <p>【評価資料】活動の様子、学習プリント、ALTとのやり取り</p>	<p>○Unit5 Family 家族 (10月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語「～がいる、～がある」</li> <li>前置詞 (on, in, between, in front of, behindなど)</li> <li>英語を使ったやり取りとスピーチ</li> </ul> <p>○Unit6 Pets ペット (11月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペットについて</li> <li>動詞have「飼っている、持っている」</li> <li>主語+don't+動詞</li> <li>英語を使ったやり取りとスピーチ</li> </ul> <p>○Christmas クリスマス</p> <p>○Winter Vacation 冬休み (12月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Unit2 前置詞(by)の既習事項から発展させて、There is/areを用いて○○がある」の表現を理解することができる。</li> <li>前置詞を用いて物がどこにあるのか英語で表現することができる。</li> <li>Unit4のwantの既習事項を踏まえて飼ってみたいペットをI want to have を用いて表現する。</li> <li>ペットを飼っていない場合の否定文don'tを用いた表現を理解する。</li> <li>○外国の異文化理解・クリスマスについてALTとやり取りをすることができる</li> </ul>
3 学期	9	<p>(知及技)簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1段階ア(ア)ウ)</p> <p>(思判表力)紹介することに関する特有の表現を使うことができる。(高1段階②(イ)エ)</p> <p>(学・人)コミュニケーションを円滑にする為に相槌をするなど、簡単な語句や基本的な表現などを主体的に活用することができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技)簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件を相手に伝えることができた。</p> <p>(思・判・表)紹介することに関する特有の表現を使うことができた。</p> <p>(主学)コミュニケーションを円滑にする為に相槌をするなど、自分の身近な暮らしに関することについて、簡単な語句や基本的な表現などを主体的に活用することができた。</p> <p>【評価資料】活動の様子、学習プリント、ALTとのやり取り</p>	<p>○Unit7 Colors 色 (1月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>16種類の色について</li> <li>My favorite○○の表現</li> <li>What's your favorite○○でやり取りを行う(自分のお気に入りの○○を表現する)</li> <li>英語を使ったやり取りとスピーチ</li> </ul> <p>○New Year resolution 1年の抱負</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>light○○で「明るい○○色」やdark○○で「暗い○○色」で表現できることを理解する。</li> <li>I like○○の表現とMy favorite○○の表現の違いを理解する。</li> <li>What's your favorite○○でやり取りを行うことができる。</li> <li>異文化理解 新年の抱負についてALTとやり取りをすることができる。</li> </ul>
総 時数	35	<p>(知及技)簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1段階ア(ア)ウ)</p> <p>(思判表力)自らのことについて、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちを伝えることができる。(高1段階イ(ア))</p> <p>(学・人)買い物に関する簡単な語句や基本的な表現などを主体的に活用することができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技)簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件を相手に伝えることができた。</p> <p>(思・判・表)自らのことについて、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちを伝えることができた。</p> <p>(主学)買い物に関する簡単な語句や基本的な表現などを主体的に活用することができた。</p> <p>【評価資料】活動の様子、買い物リストやスピーチ原稿</p>	<p>○Unit8 Snacks おやつ (2・3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お菓子の種類について</li> <li>「Good」以外の表現</li> <li>What's your favorite○○でやり取りを行う(自分のお気に入りの○○を表現する)</li> <li>英語を使ったやり取りとスピーチ</li> </ul> <p>○プレゼンテーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>What's your favorite○○でやり取りを行うことができる。</li> <li>店員役と買い物客に分かれて模擬買い物をする</li> <li>予算を考えておやつのお買い物リストを英語で作ることができる</li> <li>自分についての簡単なスピーチを作り、覚えて発表することができる。</li> <li>KeynoteやPowerPointを用いて買い物に関する短いプレゼンテーションを行う</li> </ul>

令和6年度 高等部2年（Ⅱ課程 産業コース） 情報 年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒		担当者	
1/35		高等部2年Ⅱ課程 産業コース		幸喜 恒俊 宮城 岬	
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。(高1段階) (思判表力)身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。(高1段階) (学・人)身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。(高1段階)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知ることができる。(高1段階B(ア)) (思判表力)身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えることができる。(高1段階B(イ)) (学・人)情報を複数の視点から捉えることができる。(高1段階ウ)	(知・技) 身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知ることができた。 (思・判・表)身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えることができた。 (主学)情報を複数の視点から捉えようとしている。  【評価資料】活動や実習の様子、ふりかえりシートで評価する。	「昔と今のコミュニケーション手段について」 (4・5月)	・コミュニケーションの変遷について知る。 ・教材(インターネット)
		(知及技) 身近にある情報デザインが人や社会に果たしている役割を知ることができる。(高1段階B(イ)) (思判表力)コミュニケーションの目的に合わせて、必要な情報が伝わるような情報デザインを考えることができる。(高1段階B(イ)) (学・人)事象と関係する情報を見つけることができる。(高1段階ウ)	(知・技) 身近にある情報デザインが人や社会に果たしている役割を知ることができた。 (思・判・表)コミュニケーションの目的に合わせて、必要な情報が伝わるような情報デザインを考えることができた。 (主学)事象と関係する情報を見つけようとしている。  【評価資料】活動や実習の様子、発表、ふりかえりシートで評価する。	「外にはどんな情報デザインがあるだろう」 (6月)	・身近な情報デザインについて知る。 ・教材(ピクトグラム、標識)
		(知及技) コンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ることができる。(高1段階A(ア)) (思判表力)目的や状況に応じて、身近にある情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えることができる。(高1段階A(イ)) (学・人)多角的に情報機器のつながりを見つけることができる。(高1段階ウ)	(知・技) コンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ることができた。 (思・判・表)目的や状況に応じて、身近にある情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えることができた。 (主学)多角的に情報機器のつながりを見つけようとしている。  【評価資料】活動や実習の様子、ふりかえりシートで評価する。	「情報やメディアについて」 「沖繩高等専門学校との交流学習」 (7月)	・情報やメディアの媒体や特徴について知る。 ・教材(PC、タブレット)
2 学期	14	(知及技) 情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について知ることができる。(高1段階C(ア)) (思判表力)情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保するための基本的な方法について考えることができる。(高1段階C(イ)) (学・人)コンピュータなどを利用するときの基本的なルールを踏まえ、行動することができる。(高1段階ウ)	(知・技) 情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について知ることができた。 (思・判・表)情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保するための基本的な方法について考えることができた。 (主学)コンピュータなどを利用するときの基本的なルールを踏まえ、行動しようとしている。  【評価資料】活動や実習の様子、ふりかえりシートで評価する。	「インターネットの仕組みと情報セキュリティについて」 (9月)	・情報通信ネットワークの仕組みと特徴を踏まえ情報セキュリティについて知る。 ・教材(PC)
		(知及技) 身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現する基礎的な技能を身に付けることができる。(高1段階B(ウ)) (思判表力)効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて、表現の仕方を工夫することができる。(高1段階B(ウ)) (学・人)情報同士のつながりを見つけることができる。(高1段階ウ)	(知・技) 身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現する基礎的な技能を身に付けることができた。 (思・判・表)効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて、表現の仕方を工夫できた。 (主学)情報同士のつながりを見つけようとしている。  【評価資料】活動や実習の様子、発表、ふりかえりシートで評価する。	「修学旅行のしおりを作ってみよう」 (10月)	・受け手にわかりやすいデザインについて知る。 ・教材(検索エンジン、情報雑誌)
		(知及技) 身近なデータを蓄積、管理、提供する基本的な方法について知ることができる。(高1段階C(イ)) (思判表力)情報システムが提供するサービスの利用について考えることができる。(高1段階C(イ)) (学・人)目的に応じて情報の活用を見通しを立てることができる。(高1段階ウ)	(知・技) 身近なデータを蓄積、管理、提供する基本的な方法について知ることができた。 (思・判・表)情報システムが提供するサービスの利用について考えることができた。 (主学)目的に応じて情報の活用を見通しを立てようとしている。  【評価資料】活動や実習の様子、発表、ふりかえりシートで評価する。	「データベースを作ってみよう」 (11・12月)	・データベースの特徴を知り、利便性について確認する。 ・教材(エクセル)



3 学 期	9	<p>(知及技) 情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について知ることができる。(高1段階Cア(イ))  (思判表力)情報システムが提供するサービスの利用について考えることができる。(高1段階Cイ(イ))  (学・人)目的に応じて情報の活用の見通しを立てようとする事ができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技) 情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について知ることができた。  (思・判・表)情報システムが提供するサービスの利用について考えることができた。  (主学)目的に応じて情報の活用の見通しを立てようとしている。  【評価資料】活動や実習の様子、ふりかえりシートで評価する。</p>	<p>「teamsに触れてみよう」  (1月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトの特徴を理解し、活用する。</li> <li>・教材 (teams)</li> </ul>
		<p>(知及技) データを表現、蓄積するための基本的な表し方とデータを収集、整理する基本的な方法について知り、基礎的な技能を身に付けることができる。(高1段階Cア(ウ))  (思判表力)データの収集、整理及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行することができる。(高1段階Cイ(ウ))  (学・人)問題解決における情報の大切さを意識して行動することができる。(高1段階ウ)</p>	<p>(知・技) データを表現、蓄積するための基本的な表し方とデータを収集、整理する基本的な方法について知り、基礎的な技能を身に付けることができた。  (思・判・表)データの収集、整理及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行できた。  (主学)問題解決における情報の大切さを意識して行動しようとしている。  【評価資料】活動や実習の様子、発表、ふりかえりシートで評価する。</p>	<p>「情報セキュリティを踏まえてデータベースを作ってみる」  (2・3月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティを考えてデータベースを作成する。</li> <li>・教材 (エクセル)</li> </ul>
総時数	35				

令和6年度 高等部2年(Ⅱ課程 産業コース) 道徳科 年間指導計画

単位数 /配当時数		生徒		担当者	
1/35		高等部2年Ⅱ課程 産業コース		野崎 翔太	
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解をもとに、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的、多角的に考え、人間として生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。(小学部)					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	きまりの意義を理解し、それを進んで守ろうとすることの大切さについて考えることができる。 (C(12)規則の尊重)	きまりの意義を理解し、それを進んで守ろうとすることの大切さについて考えることができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「公園のきまりを作ろう」	・きまりがあるのに、守られていないことがあるのはどうしてかを考え、出し合う。 ・みんなにとってよりよいきまりを作ることの大切さや難しさについて考える。 ・きまりがきちんと守られるためには、みんながどんなふうにかえることが必要なのかを考える。
		自分たちの生活が、過去の人々の尽力の上にあることに感謝し、その善意に応えていこうとすることについて考えることができる。 (B(8)感謝)	自分たちの生活が、過去の人々の尽力の上にあることに感謝し、その善意に応えていこうとすることについて考えることができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「水がわたる橋～通潤橋」	・自分たちの生活を見えないところで支えてくれている人にはどんな人がいるか考え、出し合う。 ・自分たちの生活を支えてくれている人達への感謝の気持ちはどんな形で表せるかを考える。
		かけがえのない命を大切に生きようとするということについて考えることができる。 (D(19)生命の尊さ)	かけがえのない生命を大切に生きようとするということについて考えることができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「最後のコンサート～チェロ奏者・徳永兼一郎」	・「生きる」とは、どういうことだと思うかを出し合う。 ・「精いっぱい生きる」とはどういう生き方をするかかを考え、話し合う。 ・「精いっぱい生きる」ために、自分はどのような考えや行動をするべきかを考える。
		自分自身に誠実に明るい心で生活することの大切さについて考えている。 (A(1)善悪の判断、自律、自由と責任)	自分自身に誠実に明るい心で生活することの大切さについて考えることができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「千羽鶴」	・「誠実」とはどういう意味かを確認する。 ・誠実に生きるにはどんな考えが必要なのかを考え、話し合う。 ・嘘をつくのはいけないと分かっているながら、人はなぜ嘘をついてしまうのかを考える。
2 学期	14	その場の状況に応じて自律的に考え、行動しようとする大切さについて考えることができる。 (A(1)善悪の判断、自律、自由と責任)	その場の状況に応じて自律的に考え、行動しようとする大切さについて考えることができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「いいいのひろば」	・広場や公園とはどんな場所か、どんな人が何のために来るところか考え、出し合う。 ・普段の自分の行動の影響を考え、それに責任を持つようとしているか振り返る。 ・自分の行動に責任を持つために、どんなことに気をつければよいか考える。
		他国への関心や理解を深め、尊重し合いながら、国際親善に努めようとするということについて考えることができる。 (B(7)親切、思いやり)	他国への関心や理解を深め、尊重し合いながら、国際親善に努めようとするということについて考えることができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「小さな国際親善大使」	・「国際親善大使」とは何かを確認する。 ・自分の国の文化や習慣と異なるものに出会ったとき、どのように感じるかを振り返る。 ・他国の習慣や文化への関心や理解を深め、互いを尊重し合うために、自分はどんな心を大切にしたいかを考える。

		先人の努力を知り、郷土の自然や文化を大切にし、発展させていこうとすることについて考えることができる。 (C(17)伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度)	先人の努力を知り、郷土の自然や文化を大切にし、発展させていこうとすることについて考えることができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「ようこそ、菅島へ！」	・住んでいる地域の自慢を考え、出し合う。 ・自分の生まれた所や住んでいる地域のよさや魅力はどんなことかを考え、発表する。 ・日本を訪れた外国人の人に、自分の地域や日本のよさ、伝統や文化を紹介するなら、どんなところを紹介したいか考える。
		対話を通じて「思いやり」の本質について考えることができる。 (B(7)親切、思いやり)	対話を通じて「思いやり」の本質について考えることができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「「思いやり」って、何だろう」	・「思いやり」について、これまでどんなことを考えてきたかを振り返る。 ・「思いやり」について、みんなで考えてよかったことや、新しく発見したことを発表する。
3 学 期	9	広い心で相手の思いや立場を尊重しようとするについて考えることができる。 (B(11)相互理解、寛容)	広い心で相手の思いや立場を尊重しようとするについて考えることができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「ブランコ乗りとピエロ」	・立場や考えが異なる相手に対して、自分はどのような気持ちで接しているかを振り返り、出し合う。 ・対立する考えの者どうしが互いを理解し、協力していくために大切なことについて考える。
		真理を大切にし、物事を探究しようとする心の大切さについて考えることができる。 (A(6)真理の探究)	真理を大切にし、物事を探究しようとする心の大切さについて考えることができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「真の看護を求めて～ナイチンゲール」	・自分は、何かをじっくり考えたり観察したりすることは好きかを振り返る。 ・真実を追求しようとする思いはなぜ大切なのかを考え、話し合う。 ・探究心をもち続けるために、どんな気持ちを大切にしているか考える。
		人間の強さや気高さを理解し、よりよく生きようとすることの大切さについて考えている。 (D(22)よりよく生きる喜び)	人間の強さや気高さを理解し、よりよく生きようとすることの大切さについて考えることができた。 【評価資料】授業での発言やワークシート、授業中やその後の態度で評価	「アンパンマンがくれたもの」	・「生きるよろこび」とは何か考え、出し合う。 ・「アンパンマンのマーチ」を知っているかを確認する。 ・「生きるよろこび」とはどのようなものかを考え、発表する。 ・自分の「生きるよろこび」は何かを考え、発表する。
総時数	35				

令和6年度 高等部2年Ⅱ課程（産業コース） 総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒		担当者		
1/35	高等部2年Ⅱ課程 産業コース		野崎 翔太		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。 (思判表力)実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめて実現することができるようにする。 (学・人)探究に主体的・協同的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技)新年度の学習や行事について知り、必要な行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力)1年間の学校生活や学習活動に見通しを持ち行動できる。 (学・人)年間の学習内容、行事計画を知り、学校生活への意欲を高めることができる。	(知・技)新年度の学習や行事について知り、必要な行動の仕方を身に付けることができる。 (思・判・表)1年間の学校生活や学習活動に見通しを持ち行動することができる。 (主学)年間の学習内容、行事計画を知り、学校生活への意欲を高めることができる。  【評価資料】 学習や活動状況等の観察による評価	「学年オリエンテーション」 「学部オリエンテーション」 (4月)	・職員の名前を知る。 ・自己紹介をする。 ・職業班について確認する。 ・年間行事計画を確認する。
		(知及技)現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力)働くことや社会に貢献することについて、適切な情報を得ながら考え、自己の将来像を描くとともに進路の選択肢を広げることができる。 (学・人)将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養うことができる。	(知・技)現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思・判・表)働くことや社会に貢献することについて、適切な情報を得ながら考え、自己の将来像を描くとともに進路の選択肢を広げることができる。 (主学)将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を身に付けることができる。	「キャリア教育講座①」 「キャリア教育講座②」 「性教育ワークショップ」 「キャリア教育講座③」 「キャリア教育④」 (4・5・7月)	・「SOY SOY」の経営者による講話を聞き、自身の進路選択にの参考にする。 ・「洋服の青山」のスタッフによる講話を聞き、実践を行う。 ・講師による性教育ワークショップを受講し、自身の身体や心について理解する。 ・「資生堂」のスタッフによる講話を聞き、実践を行い、身だしなみについて理解する。 ・外部講師による講話を聞き、ライフプランについて知り、将来設計を行う。 ・ワークシートを活用して講義内容の振り返りやまとめを行う。
		(知及技)実習を通して経験したことをふり振り返り、自ら課題を設定したり、解決したりするために必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力)自らの課題や解決策を設定するために適切な情報を収集、整理、分析を行い、表現をすることができる。 (学・人)社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	(知・技)実習を通して経験したことをふり振り返り、自ら課題を設定したり、解決したりするために必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思・判・表)自らの課題や解決策を設定するために適切な情報を収集、整理、分析を行い、表現をすることができる。 (主学)社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を身に付けることができる。	「前期就業体験実習事前学習」(5月) 「前期就業体験実習事後学習・報告会」(6月)	・自身の現状を踏まえ、前期実習における目標を設定し、具体的な目標達成方法を考える。 ・実習先や交通手段、持ち物等について確認するとともに、実習生としての態度や言葉遣いについて確認する。 ・前期実習についてまとめ、今後の課題や改善策について考え、実行する。 ・実習内容をまとめ、発表する。 ・先輩の実習報告を聞き、自身の進路選択の参考にする。
2 学期	14	(知及技)現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力)働くことや社会に貢献することについて、適切な情報を得ながら考え、自己の将来像を描くとともに進路の選択肢を広げることができる。 (学・人)将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養うことができる。	(知・技)現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思・判・表)働くことや社会に貢献することについて、適切な情報を得ながら考え、自己の将来像を描くとともに進路の選択肢を広げることができる。 (主学)将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を身に付けることができる。	「キャリア教育講座⑤」(9月)	・卒業生進路講話を聞き、自身の進路選択の参考にする。 ・ワークシートに講義内容をまとめ、卒業後について記入する。 ・自分について考えたり、働く目的と意義について学ぶ。(キャリアパスポート)
		(知及技)実習を通して経験したことをふり振り返り、自ら課題を設定したり、解決したりするために必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思判表力)自らの課題や解決策を設定するために適切な情報を収集、整理、分析を行い、表現をすることができる。 (学・人)社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養う。	(知・技)実習を通して経験したことをふり振り返り、自ら課題を設定したり、解決したりするために必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思・判・表)自らの課題や解決策を設定するために適切な情報を収集、整理、分析を行い、表現をすることができる。 (主学)社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を身に付けることができる。	「後期就業体験実習事前学習」(10月) 「後期就業体験実習事後学習・報告会」(11月)	・自身の現状を踏まえ、前期実習における目標を設定し、具体的な目標達成方法を考える。 ・実習先や交通手段、持ち物等について確認するとともに、実習生としての態度や言葉遣いについて確認する。 ・前期実習についてまとめ、今後の課題や改善策について考え、実行する。 ・実習内容をまとめ、発表する。 ・先輩の実習報告を聞き、自身の進路選択の参考にする。

		<p>(知及技)校外における集団生活の在り方や社会生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力)日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用するよう考えることができる。</p> <p>(学・人)日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技)校外における集団生活の在り方や社会生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けることができる。</p> <p>(思・判・表)日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用するよう考えることができる。</p> <p>(主学)日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとする態度を身に付けることができる。</p> <p>【評価資料】 学習や活動状況等の観察による評価 しおり等の記述内容に基づいて評価</p>	「生活探究の時間」(11月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設を利用し、社会生活上のルールや公衆道徳などについて理解し、適切な行動について考え、実践する。</li> <li>・日頃の学習活動の成果を活用しながら集団行動を行い、新たな視点から学習活動の意義を考える。</li> <li>・しおりに学習した内容を記入する。</li> </ul>
3 学 期	9	<p>(知及技)現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力)働くことや社会に貢献することについて、適切な情報を得ながら考え、自己の将来像を描くとともに進路の選択肢を広げることができる。</p> <p>(学・人)将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技)現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考えるために、必要な知識及び技能を身に付けることができる。</p> <p>(思・判・表)働くことや社会に貢献することについて、適切な情報を得ながら考え、自己の将来像を描くとともに進路の選択肢を広げることができる。</p> <p>(主学)将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方を振り返るとともに、働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとする態度を身に付けることができる。</p> <p>【評価資料】 学習や活動状況等の観察による評価 ワークシート等の記述内容に基づいて評価</p>	「キャリア教育講座⑥」(1月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者教育講座を受講し、「契約」や「消費者トラブル」について知る。</li> <li>・ワークシートに講義内容をまとめ、記入する。</li> <li>・自分について考えたり、働く目的と意義について学ぶ。(キャリアパスポート)</li> </ul>
		<p>(知及技)校外における集団生活の在り方や社会生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力)日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用するよう考えることができる。</p> <p>(学・人)日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技)校外における集団生活の在り方や社会生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けることができる。</p> <p>(思・判・表)日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用するよう考えることができる。</p> <p>(主学)日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとする態度を身に付けることができる。</p> <p>【評価資料】 学習や活動状況等の観察による評価 しおり等の記述内容に基づいて評価</p>	「生活探究の時間」(2月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設を利用し、社会生活上のルールや公衆道徳などについて理解し、適切な行動について考え、実践する。</li> <li>・日頃の学習活動の成果を活用しながら集団行動を行い、新たな視点から学習活動の意義を考える。</li> <li>・しおりに学習した内容を記入する。</li> </ul>
総時数	35				

令和6年度 高等部2年(Ⅱ課程 産業コース) 特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者			
1/35	高等部2年Ⅱ課程(産業コース)	野崎 翔太			
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) 儀式的行事の意義や、場面にふさわしい参加の仕方について理解し、厳粛な場における儀礼やマナー等の規律や気品ある行動の仕方などを身に付けることができる。 (思判表力) 学校生活の節目の場において将来を見通したり、これまでの生活を振り返りながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をとることができる。 (学・人) 厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目としてこれまでの生活を振り返り、新たな生活への希望や意欲につなげようとする態度を養うことができる。	(知・技) 儀式的行事の意義や、場面にふさわしい参加の仕方について理解し、厳粛な場における儀礼やマナー等の規律や気品ある行動の仕方などを身に付けることができる。 (思・判・表) 学校生活の節目の場において将来を見通したり、これまでの生活を振り返りながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をとることができる。 (主学) 厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目としてこれまでの生活を振り返り、新たな生活への希望や意欲につなげようとする態度を身に付けることができる。 【評価資料】身なりチェックシート、振り返りシート、発表で評価する。	【学校行事】(4月・7月) 儀式的行事 ・入学式 「新入生を迎えよう」 ・1学期始業式 「高2・高3になること」 ・1学期終業式 「1学期を終えて」	・儀式的行事にふさわしい服装や身なりについて学ぶ。 ・儀式的行事に応じた礼儀やマナー等の規律や気品ある行動の仕方について知る。 ・入学式へ参加し新入生を迎える。 ・2年生の決意を考える。 ・1学期の振り返る。 ・2学期へ向けた決意を考える。
		(知及技) ホームルームや学校における集団活動や主体的かつ自律的な生活を送ることの意義を理解し、そのために必要となることについて理解し身に付けることができる。 (思判表力) ホームルームや学校及び自己の生活、人間関係をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人) ホームルームや学校における集団活動を通して身に付けたことを生かして、人間関係をよりよく形成し、他者と協働して集団や自己の課題を解決するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、その実現に向けて、主体的に日常生活の向上を図ろうとする態度を養うことができる。	(知・技) ホームルームや学校における集団活動や主体的かつ自律的な生活を送ることの意義を理解し、そのために必要となることについて理解し身に付けることができる。 (思・判・表) ホームルームや学校及び自己の生活、人間関係をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (主学) ホームルームや学校における集団活動を通して身に付けたことを生かして、人間関係をよりよく形成し、他者と協働して集団や自己の課題を解決するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深めその実現に向けて、主体的に日常生活の向上を図ろうとする態度を身に付けることができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りワークシートで評価する。	【ホームルーム活動】(4～7月) ・SHR ・係活動 「仕事の役割分担とルール」 ・学級活動 「集団の一員であるという自覚と責任感」 ・学年活動 「集団の一員であるという自覚と責任感」 ・食育 「栄養の偏りのない食事の取り方」 ・国際理解と国際交流 「身近にある外国」 ・キャリア形成と自己実現 「自分の良さの発見」 「働く目的と意義」 ・性指導 「心と体の変化について」	・学級開き、学年開きで新しい先生や同級生と顔合わせをする。 ・1学期個人目標の設定や制作、発表、掲示をする。 ・1学期個人目標の振り返りをする。 ・学級会で係決めなどをする。 ・学年集会で先生の話を聞いた、発表したり、挨拶練習をしたりする。 ・給食を通して食育を学ぶ。 ・言葉や食べ物など、身近にある外国調査をする。 ・自分について考えたり、働く目的と意義について学ぶ。(キャリアパスポート) ・心と体の学習の学習をする。
		(知及技) 異年齢により構成される民主的かつ自治的組織における活動の意義について理解するとともに、その活動のために必要なことを理解し行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力) 学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだし、その解決のために話し合い、合意形成や意思決定することで、よりよい人間関係を形成することができる。 (学・人) 自治的な集団における活動の中で身に付けたことを生かして、多様な他者と協働し、学校や社会におけるよりよい生活づくりに参画しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 異年齢により構成される民主的かつ自治的組織における活動の意義について理解するとともに、その活動のために必要なことを理解し行動の仕方を身に付けることができる。 (思・判・表) 学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだし、その解決のために話し合い、合意形成や意思決定することで、よりよい人間関係を形成することができる。 (主学) 自治的な集団における活動の中で身に付けたことを生かして、多様な他者と協働し、学校や社会におけるよりよい生活づくりに参画しようとする態度を身に付けることができる。 【評価資料】活動の様子や感想発表、新入生へのメッセージカード作成、振り返りシートで評価する。	【生徒会活動】 ・新入生歓迎会(4月) 「先輩達とつながろう」 ・生徒総会(6月) 「生徒会活動について」	・生徒会役員を知る。 ・生徒会活動を知る。
		(知及技) 芸術的なものや伝統文化を鑑賞したりする活動に必要な知識や技能を身に付ける。 (思判表力) 美しいものや優れたもの、芸術的なものや地域や我が国の伝統文化に触れたりして、自他の個性を認め、互いに高め合うことができる。 (学・人) 生涯にわたって、多様な文化芸術に親しむとともに、音楽に対する豊かな感性と音楽文化を尊重する態度を養う。	(知・技) 芸術的なものや伝統文化を鑑賞したりする活動に必要な知識や技能を身に付けることができる。 (思・判・表) 美しいものや優れたもの、芸術的なものや地域や我が国の伝統文化に触れたりして、自他の個性を認め、互いに高め合うことができる。 (主学) 生涯にわたって、多様な文化芸術に親しむとともに、音楽に対する豊かな感性と音楽文化を尊重する態度を身に付けることができる。 【評価資料】学習や活動の状況などの観察による評価する。	【学校行事】(6月) 文化的行事 ・芸術鑑賞会	・儀式的行事にふさわしい服装や身なりについて学ぶ。 ・行事に応じた礼儀やマナー等の規律や気品ある行動の仕方などについて知る。 ・芸術について触れる。

		<p>(知・技) 心身の健全な発達や健康の保持増進を理解し、必要な行動の仕方などを身に付けることができる。 (思・判・表) 自己の生活を振り返り、健康、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考えることができる。 (学・人) 生涯にわたって、心身ともに健康な生活を実践したりしようとする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) 心身の健全な発達や健康の保持増進を理解し、必要な行動の仕方などを身に付けることができる。 (思・判・表) 自己の生活を振り返り、健康、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考えることができる。 (主・学) 生涯にわたって、心身ともに健康な生活を実践したりしようとする態度を身に付けることができる。 【評価資料】 振り返りシートで評価する。</p>	<p>【学校行事】 (4月～6月) 健康安全・体育的行事 ・定期健康診断 「自分の健康状態について知ろう」 「健康で安全な生活について」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体測定をする。</li> <li>・耳鼻科検診をする。</li> <li>・内科検診をする。</li> <li>・心電図線検をする。</li> <li>・歯科検診をする。</li> </ul>
		<p>(知・技) 儀式的行事の意義や、場面にふさわしい参加の仕方について理解し、厳粛な場における儀礼やマナー等の規律や気品ある行動の仕方などを身に付けることができる。 (思・判・表) 学校生活の節目の場において将来を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をとることができる。 (学・人) 厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目としてこれまでの生活を振り返り、新たな生活への希望や意欲につなげようとする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) 儀式的行事の意義や、場面にふさわしい参加の仕方について理解し、厳粛な場における儀礼やマナー等の規律や気品ある行動の仕方などを身に付けることができる。 (思・判・表) 学校生活の節目の場において将来を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をとることができる。 (主・学) 厳粛で清らかな気分を味わい、行事を節目としてこれまでの生活を振り返り、新たな生活への希望や意欲につなげようとする態度を身に付けることができる。 【評価資料】 身なりチェックシート、がんばりたいこと、振り返りシート、発表で評価する。</p>	<p>【学校行事】 (9月・12月) 儀式的行事 ・2学期始業式 「2学期に向けて」 ・2学期終業式 「2学期を終えて」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・儀式的行事にふさわしい服装や身なりについて学ぶ。</li> <li>・儀式的行事に応じた礼儀やマナー等の規律や気品ある行動の仕方について知る。</li> <li>・2学期へ向けた決意を考える。</li> <li>・2学期の振り返る。</li> <li>・3学期へ向けた決意を考え発表する。</li> </ul>
		<p>(知・技) ホームルームや学校における集団活動や主体的かつ自律的な生活を送ることの意義を理解し、そのために必要となることについて理解し身に付けることができる。 (思・判・表) ホームルームや学校及び自己の生活、人間関係をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (主・学) ホームルームや学校における集団活動を通して身に付けたことを生かして、人間関係をよりよく形成し、他者と協働して集団や自己の課題を解決するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、その実現に向けて、主体的に日常生活の向上を図ろうとする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) ホームルームや学校における集団活動や主体的かつ自律的な生活を送ることの意義を理解し、そのために必要となることについて理解し身に付けることができる。 (思・判・表) ホームルームや学校及び自己の生活、人間関係をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (主・学) ホームルームや学校における集団活動を通して身に付けたことを生かして、人間関係をよりよく形成し、他者と協働して集団や自己の課題を解決するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、その実現に向けて、主体的に日常生活の向上を図ろうとする態度を身に付けることができる。 【評価資料】 活動の様子と感想発表、振り返りワークシートで評価する。</p>	<p>【ホームルーム活動】 (9～12月) ・SHR ・係活動 「仕事の役割分担とルール」 ・学級活動 「なりたい自分をめざして」 「不安や悩みの解消」 ・学年活動 「自他の理解と尊重」 ・食育 「給食の工夫を知ろう」 ・国際理解と国際交流 「食材の産地を調べよう」 ・キャリア形成と自己表現 「学ぶことや働くことの楽しさと価値」 ・性指導 「友情について」 「世界エイズデーについて」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期個人目標の設定や作成、発表、掲示をする。</li> <li>・2学期個人目標の振り返りをする。</li> <li>・学級会で係決めなどをする。</li> <li>・学年集会で先生の話を聞いたり、発表したり、挨拶練習をしたりする。</li> <li>・給食を通して食育を学ぶ。</li> <li>・言葉や食べ物など、身近にある外国調査をする。</li> <li>・学ぶことや働くことの楽しさと価値について学ぶ。(キャリアパスポート)</li> <li>・心と体の学習をする。</li> <li>・世界エイズデーについて学ぶ。</li> </ul>
		<p>(知・技) 事件や事故、災害等の非常時から身を守ることを理解し、必要な行動の仕方などを身に付ける。また、規律ある集団行動の仕方などを身に付けることができる。 (思・判・表) 自己の生活を振り返り、安全、防災、の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動することができる。 (学・人) 生涯にわたって、安全な生活を実践したりしようとする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) 事件や事故、災害等の非常時から身を守ることを理解し、必要な行動の仕方などを身に付ける。また、規律ある集団行動の仕方などを身に付けることができる。 (思・判・表) 自己の生活を振り返り、安全、防災、の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動することができる。 (主・学) 生涯にわたって、安全な生活を実践したりしようとする態度を身に付けることができる。 【評価資料】 活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。</p>	<p>【学校行事】 (9月) 健康安全・体育的行事 ・不審者避難訓練 「不審者とは」 「不審者から身を守るには」 ・地震・津波避難訓練 「防災とは」 「自然災害時の危険と安全確保」 ・火災避難訓練 「防災とは」 「火災時の危険と安全確保」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の不審者侵入対策訓練の様子をもとにした学習用動画を視聴する。</li> <li>・「いかのおすし」に関する動画を視聴する。</li> <li>・振り返りのワークシートを記入する。</li> <li>・地震津波時の身の安全確保について学ぶ。</li> <li>・防災バッグ携行の実践と携行品の確認をする。</li> <li>・避難経路の確認をする。</li> <li>・「おはしもち」の確認をする。</li> </ul>
		<p>(知・技) 豊かな自然や文化・社会に親しむことの意義を理解するとともに、校外における集団生活の在り方や生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方などを身に付けることができる。 (思・判・表) 日常とは異なる生活環境の中で集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用するように考えることができる。 (学・人) 日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) 豊かな自然や文化・社会に親しむことの意義を理解するとともに、校外における集団生活の在り方や生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方などを身に付けることができる。 (思・判・表) 日常とは異なる生活環境の中で集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用するように考えることができる。 (主・学) 日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとする態度を身に付けることができる。 【評価資料】 生活係、学習係、レク係等各係ごとの活動の様子、しおり、修学旅行時の活動の様子、発表で評価する。</p>	<p>【学校行事】 (12月) 集団宿泊的行事 ・修学旅行</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習で修学旅行の内容を知る。</li> <li>・修学旅行に行く。</li> <li>・事後学習で振り返り学習を行う。</li> </ul>

3 学 期	9	<p>(知及技) 儀式的行事の意義や、場面にふさわしい参加の仕方について理解し、厳粛な場における儀礼やマナー等の規律や気品ある行動の仕方などを身に付けることができる。 (思判表力) 学校生活の節目の場において将来を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をとることができる。 (学・人) 厳粛で清新な気分を味わい、行事を節目としてこれまでの生活を振り返り、新たな生活への希望や意欲につなげようとする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) 儀式的行事の意義や、場面にふさわしい参加の仕方について理解し、厳粛な場における儀礼やマナー等の規律や気品ある行動の仕方などを身に付けることができる。 (思・判・表) 学校生活の節目の場において将来を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をとることができる。 (主学) 厳粛で清新な気分を味わい、行事を節目としてこれまでの生活を振り返り、新たな生活への希望や意欲につなげようとする態度を身に付けることができる。 【評価資料】身なりチェックシート、がんばりたいこと、振り返りシート、発表で評価する。</p>	<p>【学校行事】(1月・3月) 儀式的行事 ・3学期始業式 「3学期に向けて」 ・高等部卒業式 「先輩の門出を祝おう」 ・小・中・学部卒業式 「後輩の門出を祝おう」 ・修了式・離任式 「1学年を終えて」 「お世話になった先生方へ感謝の気持ちを伝えよう」</p>	<p>・儀式的行事にふさわしい服装や身なりについて学ぶ。 ・儀式的行事に応じた礼儀やマナー等の規律や気品ある行動の仕方について知る。 ・卒業生の門出を祝う。 ・3学期へ向けた決意を考える。 ・3学期を振り返る。 ・来年度へ向けた決意を考える。</p>
		<p>(知及技) ホームルームや学校における集団活動や主体的かつ自律的な生活を送ることの意義を理解し、そのために必要となることについて理解し身に付けることができる。 (思判表力) ホームルームや学校及び自己の生活、人間関係をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人) ホームルームや学校における集団活動を通して身に付けたことを生かして、人間関係をよりよく形成し、他者と協働して集団や自己の課題を解決するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、その実現に向けて、主体的に日常生活の向上を図ろうとする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) ホームルームや学校における集団活動や主体的かつ自律的な生活を送ることの意義を理解し、そのために必要となることについて理解し身に付けることができる。 (思・判・表) ホームルームや学校及び自己の生活、人間関係をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (主学) ホームルームや学校における集団活動を通して身に付けたことを生かして、人間関係をよりよく形成し、他者と協働して集団や自己の課題を解決するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、その実現に向けて、主体的に日常生活の向上を図ろうとする態度を身に付けることができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りワークシートで評価する。</p>	<p>【ホームルーム活動】(1～3月) ・SHR ・係活動 「仕事の役割分担とルール」 ・学級活動 「奉仕活動体験」 ・学年活動 「自他の理解と尊重」 ・食育 「調理方法を知ろう」 ・国際理解と国際交流 「沖繩に近い外国」 ・キャリア形成と自己表現 「先輩から学ぼう」 ・性指導 「ジェンダーについて」</p>	<p>・3学期個人目標の設定や作成、発表、掲示をする。 ・3学期個人目標の振り返りをする。 ・学級会で係決めなどをとする。 ・学年集会で先生の話や聞いた、発表をしたり、挨拶練習をしたりする。 ・給食を通して食育を学ぶ。 ・言葉や食べ物など身近にある外国調査をする。 ・先輩の講話を聞き、自分の学校生活について考える。(キャリアパスポート) ・心と体の学習をする。 ・男女平等の精神に基づく男女の人間関係について学ぶ。</p>
		<p>(知及技) 事件や事故、災害等の非常時から身を守ることに意義を理解し、必要な行動の仕方などを身に付ける。また、規律ある集団行動の仕方などを身に付けることができる。 (思判表力) 自己の生活を振り返り、安全、防災の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動することができる。 (学・人) 生涯にわたって、安全な生活を実践したりしようとする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) 災害等の非常時から身を守ることに意義を理解し、必要な行動の仕方などを身に付ける。また、規律ある集団行動の仕方などを身に付けることができる。 (思・判・表) 自己の生活を振り返り、安全、防災の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動することができる。 (主学) 生涯にわたって、安全な生活を実践したりしようとする態度を身に付けることができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。</p>	<p>【学校行事】(1月) 健康安全・体育的行事 ・火災避難訓練 「防災とは」 「火災時の危険と安全確保」</p>	<p>・避難訓練関連の動画を鑑賞する。 ・PPを活用した避難時の約束「おはしもち」の確認をする。</p>
		<p>(知及技) 異年齢により構成される民主的かつ自治的組織における活動の意義について理解するとともに、その活動のために必要なことを理解し行動の仕方などを身に付けることができる。 (思判表力) 学校全体の生活をよりよくするための課題を見だし、その解決のために話し合い、合意形成や意思決定することで、よりよい人間関係を形成することができる。 (学・人) 自治的な集団における活動の中で身に付けたことを生かして、多様な他者と協働し、学校や社会におけるよりよい生活づくりに参画しようとする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) 異年齢により構成される民主的かつ自治的組織における活動の意義について理解するとともに、その活動のために必要なことを理解し行動の仕方などを身に付けることができる。 (思・判・表) 学校全体の生活をよりよくするための課題を見だし、その解決のために話し合い、合意形成や意思決定することで、よりよい人間関係を形成することができる。 (主学) 自治的な集団における活動の中で身に付けたことを生かして、多様な他者と協働し、学校や社会におけるよりよい生活づくりに参画しようとする態度を身に付けることができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。</p>	<p>【生徒会活動】(1～2月) ・生徒会役員選挙 「生徒会役員を決めよう」 ・3年生を送る会 「3年生にお祝いと感謝の気持ちを伝えよう」</p>	<p>・立ち会い演説会に参加する。 ・投票をする。 ・開票結果の発表を聞く。 ・思い出の動画を視聴する。 ・3年生へプレゼントを贈呈する。 ・在校生から卒業生へメッセージを書く。</p>
総時数	35				



令和6年度 高等部2年（Ⅱ課程 産業コース） 自立活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	
1/35		高等部2年Ⅱ課程（産業コース）		野崎 翔太	
目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 ・ 個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知能、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	①生活リズムや生活習慣を身につけることができる。（健（1）） ②病気の状態の理解と生活習慣について理解できる。（健（2）） ③身体各部の状態の理解と養護について理解することができる。（健（3）） ④障害の特性の理解と生活環境の調整を図ることができる。（健（4）） ⑤健康状態の維持・改善について理解することができる。（健（5））	・生活リズムや生活習慣の習得に取り組むことができた。 ・病気の状態の理解や生活習慣について理解できた。 ・身体各部の状態の理解と養護について理解できた。 ・障害特性の理解と生活環境の調整について理解できた。 ・健康状態の維持・改善について理解できた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りとで評価する。	単元名：健康な体づくり 題材名：基礎体力を見につけよう！ （年間を通しておこなう）	・体温を測る。 ・健康を観察する。 ・手洗いをする。 ・うがいをする。 ・歯磨きをする。 ・体を動かす。 ・水分を補給する。 ・給食を摂る。
		①情緒の安定を図ることができる。（心（1）） ②状況の理解と変化への対応ができる。（心（2）） ③障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲について理解することができる。（心（3））	・情緒の安定を図ることができた。 ・状況の理解と変化への対応ができた。 ・障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服について理解できた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りとで評価する。	単元名：こころを上手にコントロール 題材名：自他の気持ちをについて考えてみよう！ （年間を通しておこなう）	・学級、学年活動を行う。 ・日課を確認する。 ・iPadで学習する。 ・マッチング、パズルの活動。
2 学期	14	①他者とのかかわりの基礎について理解できる。（人（1）） ②他者の意図や感情について理解できる。（人（2）） ③自己の理解と行動の調整について理解できる。（人（3）） ④集団への参加について理解できる。（人（4））	・他者とのかかわりの基礎について理解できた。 ・他者の意図や感情について理解できた。 ・自己の理解と行動の調整について理解できた。 ・集団への参加について理解できた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りとで評価する。	単元名：見えないルール 題材名：ルールについて考えよう （年間を通しておこなう）	・学級、学年活動を行う。 ・ソーシャルスキルトレーニングを用いた学習をする。 ・ロールプレイングゲームを行う。
		①保有する感覚の活用について理解できる。（環（1）） ②感覚や認知の特性について理解できる。（環（2）） ③感覚の補助及び代行手段の活用について理解できる。（環（3）） ④感覚を総合的に活用した周囲の状況に応じた行動について理解できる。（環（4）） ⑤認知や行動の手掛かりとなる概念の形成について理解できる。（環（5））	・保有する感覚の活用について理解できた。 ・感覚や認知の特性について理解できた。 ・感覚の補助及び代行手段の活用について理解できた。 ・感覚を総合的に活用した周囲の状況に応じた行動について理解できた。 ・認知や行動の手掛かりとなる概念の形成について理解できた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りとで評価する。	単元名：こころを上手にコントロール 題材名：自他の気持ちをについて考えてみよう！ （年間を通しておこなう）	・学級、学年活動を行う。 ・文字の習得をめざしてプリント学習を行う。 ・iPadで学習する。
3 学期	9	①姿勢と運動・動作の基本的技能について理解できる。（身（1）） ②姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用について理解できる。（身（2）） ③日常生活に必要な基本動作について理解できる。（身（3）） ④身体の移動能力について理解できる。（身（4）） ⑤作業に必要な動作と円滑な遂行について理解できる。（身（5））	・姿勢と運動・動作の基本的技能について理解できた。 ・姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用について理解できた。 ・日常生活に必要な基本動作について理解できた。 ・身体の移動能力について理解できた。 ・作業に必要な動作と円滑な遂行について理解できた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りとで評価する。	単元名：自身のからだについて 題材名：自分の可動域を知ろう （年間を通しておこなう）	・微細、粗大運動など手指訓練を行う。 ・ビジョントレーニングを行う。 ・リラックスタイムを設けて休息を図る。
		①コミュニケーションの基礎的能力について理解できる。（コ（1）） ②言語の受容と表出について理解できる。（コ（2）） ③言語の形成と活用について理解できる。（コ（3）） ④コミュニケーション手段の選択と活用について理解できる。（コ（4）） ⑤状況に応じたコミュニケーションについて理解できる。（コ（5））	・コミュニケーションの基礎的能力について理解できた。 ・言語の受容と表出について理解できた。 ・言語の形成と活用について理解できた。 ・コミュニケーション手段の選択と活用について理解できた。 ・状況に応じたコミュニケーションについて理解できた。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りとで評価する。	単元名：伝えかたの工夫 題材名：相手にわかりやすく伝えよう。 （年間を通しておこなう）	・学級、学年活動を行う。 ・声の大きさで声の大きさの調整を図る。 ・トークンカードゲームを用いて学習する。 ・ロールプレイングゲームを行う。
総時数	35				